



IGFA アングリング・ルール

IGFA ANGLING RULES

このルールは、良識ある健全な釣りの普及を目指し、世界における釣魚の記録保存を可能とする統一基準となり、トーナメントや釣りの各種大会で採用できる基本的なガイドラインを提供するために、インターナショナル・ゲームフィッシュ協会 (IGFA) によって定められたものである。

「釣り」とは、ロッド、リール、ライン、フックのすべてを用いて魚を捕獲すること、あるいはそれを目的とした行為と定義される。ただし規則ではコントロールできない釣りの側面というものはたしかに存在する。どのようなルールを定めようと、フックにかかった魚がすばらしいファイトをするかどうかは分からず、世界記録が樹立されたからといって、その釣りが難しかったかどうかは判断できない。魚がファイトしなかったキャッチ、魚がファイトする機会を与えなかったキャッチは、アングラーの名誉とはならない。それが偉業であったかどうかは、当事者たるアングラー本人のみが正しく評価できるものであろう。

IGFAの認定する世界記録の対象となりうるのは、IGFAルールに従って捕獲された魚のみである。以下は、海と淡水の釣り、オールタックル・レンジスおよびフライフィッシングに関連するIGFAルールである。

☆当ルールブック発行後に追加・訂正された事項については、JGFA NEWS の最新号あるいは JGFA ホームページの記述を参照のこと。

海と淡水のフィッシング・ルール

(オールタックル・レンジスおよびフライフィッシング・ルールも参照)

● 釣具の規定

A. ラインおよびバックング

1. 使用するフィッシングラインは、モノフィラメント、マルチフィラメント(編み糸)、または、レッドコア・マルチフィラメントのいずれかに限る。ラインクラスについては、「世界記録の必要事項」を参照のこと。
2. ワイヤーラインの使用は禁止される。
3. バックングの使用は許可される。
4. 使用するラインのクラスは、ダブルライン、リーダーなしフックに接続された先端部分5メートルの破断強度で決定される。このセクションは同一素材のシングルラインであること。

B. ダブルライン

ダブルラインの使用は必須ではないが、使用する場合は以下のとおりとする。

1. ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない。
2. ダブルラインの長さは、ダブルを作っている部分(ノット、編み込み、ロールまたはスプライスなど)の端から、リーダー、ルアー、またはフックなどを取り付けるために使われるノット、スプライス、スナップ、スイベル等の用具のいちばん端までと定義する。

【海水魚】

ダブルラインの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m(15フィート)以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は6.1m(20フィート)以内であること。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは、ダブルラインの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、ダブルラインとリーダーの合計長は12.19m (40フィート) 以内とする。

【淡水魚】

すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m(10フィート) 以内であること。

C. リーダー

リーダーの使用は必須ではないが、使用する場合には以下のとおりとする。

リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さであり、末端に位置するフックのベンドから測定する。リーダーはスナップ、ノット、スプライス、スイベルまたは他の用具でラインに接続されていること。リーダーを握るための用具類を装着してはならない。リーダーの材質および強度については制限しない。

【海水魚】

リーダーの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m(15フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は6.1m (20フィート) 以内でなければならない。10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスは、リーダーの長さを9.14m (30フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は12.19m (40フィート) 以内であること。

【淡水魚】

すべてのラインクラスにおいてリーダーは1.82m (6フィート) 以内とし、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m(10フィート) 以内であること。

D. ロッド

1. ロッドは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。ロッドの選択においては相当の自由度が許容されているが、釣り人に不当な利益を与えるようなものは失格となる。この規定は、慣習に従わないロッドの使用を排除するためのものである。
2. ロッドティップの長さは101.6cm (40インチ) 以上、ロッドバットの長さは68.58cm (27インチ) 以内であること。これらの長さは、ロッドに装着したリールの中心点の真下からの直線距離を測るものとする。カーブドバットは、直線距離で末端までの距離を測る。ロッドバットをジンバルに装着したとき、リールシートからジンバルのピボットポイントまでの距離は68.58cm (27インチ) 以内であること。(ただしこの規定はサーフ・キャ

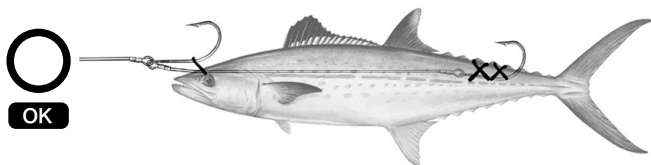
スティング・ロッドには適用しない。)

E. リール

1. リールは、アマチュアとしての釣りの倫理と慣習に従って作られたものでなければならない。
2. 動力を利用するリールは、以下の状況下および仕様に限り許可される。
 - a) 取り外すことができるパワーアクセサリ（たとえば電動ドリル、モーター、ないしリール専用に製造されたアクセサリ）を装着したリールは、釣りのために水中に設置したエサやルアーをボートに回収するためだけに使用できる。
 - b) パワーアクセサリは、エサやルアーをボートまで完全に回収するためだけに使用し、水中におけるエサやルアーの位置を調整するために使ってはならない。リールにパワーアクセサリを装着した時点で、以降に掛かった魚はすべてルール違反とみなされるので、ただちにエサやルアーは回収を開始して、船べりまで完全に上げなければならない。再び釣りを開始するためには、パワーアクセサリを取り外し、手巻き操作によってエサやルアーを再投入する。パワーアクセサリが装着された状態のまま再投入を行うことは禁止される。
 - c) 魚のフッキング／ファイトが起る前に、パワーアクセサリは取り外しておかなければならない。リールにパワーアクセサリが装着された状況下でベイトやルアーにストライクした魚は、そのアクセサリが実際に使用されていたかどうかに関わらず、記録申請の対象とはならない。
 - d) 取り外すことができる電気関連パーツを備えておらず、完全な手巻きが実現できない電動リールは、使用が禁止される。

F. ベイトフィッシング(エサ釣り)に使用するフック

1. 生き餌、または死んだ餌で釣る時は、**シングルフック（1本バリ）を2本まで使用することができる**。この場合、両方のフックは餌の中に埋め込むか、餌にしっかりと固定しなければならない。2本のフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければいけないが、45.72cm(18インチ)以上離してはならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。
フックの後ろに餌あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのベンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。



2. ダングリングフック*およびスインギングフック*の類を使用はならない。ダブルやトレブルフック（3本イカリバリ）の使用も禁止される。
3. ボトムフィッシングの場合は、シングルフックを2本まで使用することができる。2本のフックは、別々のハリスでリーダーの本線に取り付けなければならない。フックを含めたハリスの合計長

は、リーダー本線に設けられた接続部間の長さを超えることができない。2本のフックは、別々の餌に埋め込むこと。

4. フックを2本使用して釣った魚を記録申請する時は、仕掛けのフック配列が分かる写真、またはスケッチを添付すること。

G. フックおよびルアー

1. スカートまたはトレーリング材*を取り付けたルアーには、シングルフックを2本まで、ラインないしリーダーに取り付けて使用することができる。フックは別々に取り付ける必要はない。この場合、2本のフックのアイの間隔は、フックの長さ(使用されているフックの大きい方の全長)以上なければいけないが、30.48cm(12インチ)以上離してはならない。例外として、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すのはかまわない。トレーリングフック(後方のフック)は、ルアーのスカートから全長がはみ出してはならない。フックの後ろにルアー、あるいは餌とルアーの組み合わせを装着する場合、その先端とフックのベンド後端との間隔はフックの長さぶんを超えてはならない。

記録申請時には、フックの配列が分かる写真、またはスケッチが必要である。

2. ギャングフックは、専用に設計されたプラグまたはルアーに取り付けるときにだけ使用が許される。ルアーに取り付けたギャングフックは、自由に振れ動かなければならない。使用するギャングフックは、3本までに限られる(シングル、ダブル、トレブルのいずれか、または組み合わせ)。魚が掛かったときに自由に振れ動くなら、ギャングフックはルアーに埋め込んだり本体に固定したりすることができる。ギャングフックに餌を取り付けることはできない。**記録申請時にはルアーの写真もしくはスケッチを添付すること。**もしそれが充分でない時はルアーそのものの提出が要求されることもある。
3. モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること：スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リードの長さは使用するフック長の1.5倍を超えてはならない。またフックのベンド位置は、ルアーと接続される最近点から4インチ(101mm)を超えてはならない。アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできない。また、アシストフックはシングルフックとし、2本のシングルフックをタンデムにして使うことはできない。プラグの場合と同様、1つのルアーに対して最大3本のアシストフックを使うことができる。
4. フックのついたルアーは、1度に1つしか使用できない。

H. その他の用具

1. ファイトチェアには、魚とのファイトを有利に導く機械的推進装置を取り付けてはならない。
2. ジンバルは、垂直面のみに動くものを含め、自由にスイングすること。魚とファイトしている時、釣り人の負担を軽減したり、休息を可能とするジンバルは禁じられている。
3. 魚を取り込む時に使用するギャフおよびネットは、**全長が2.44m(8フィート)以内であること**。フライングギャフ、脱着式ギャフを使用する場合、ギャフロープは**9.14m(30フィート)**

以内であること。ロープは、ヘッドに取り付けられた点から末端までを測るものとする。計測するのは有効長のみで、結び目の余りは長さに含まない。ヘッドの固定されたギャフを使用する場合も同じ制限が適用され、ギャフロープはギャフフックの同じ位置から測る。ギャフは、シングルフックだけが使用できる。モリまたはヤスを使用してはいけない。テイルロープは9.14m (30フィート)までとする(例外として橋、栈橋、その他の高い台や構造物から釣る場合、ギャフないしネットの全長やテイルロープの長さに関する上記制限は適用されない)。

- エンタングリング(魚を絡め取る)用具は、フックの有無にかかわらず禁じられている。ベイトイングまたはフッキング、ファイティング、ランディングを含むいかなる目的のためにも使用してはいけない。
- アウトリガー、ダウンリガー、スプレッダーバーおよびカイトの使用は許可されるが、条件として、それらに装着されたスナップなどのリリース器具に、フィッシングラインが直接的あるいはゴムバンドなどを介して間接的に固定されていなければならない。直接あるいは間接を問わず、リリース器具にリーダーまたはダブルラインを固定することは禁じられる。スプレッダーバーはティーザーとしての使用も許される。
- デジージェーン、バード、フロート(ウキ)もしくはそれらに類した用具は使用可であるが、魚が通常備える遊泳力やファイトする能力を妨げるもの、アングラークルーによる魚とのファイトや取り込みに有利となるものなどは、いかなる場合も使用が許されない。
- セーフティライン[落下防止のための尻手(シッテ)ロープ]は、魚とのファイトにおいて釣り人に有利に作用しないものに限る、ロッド、リールあるいはハーネスに取り付けてもよい。

● 釣りの規定

- 魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、**釣り人は他からの助けを借りることなく魚をフックにかけ、ファイトし、取り込まなければならない**。ただし、本ルール内の規定で認められたものは除く。
- ロッドをホルダーで固定している時に、魚がベイトまたはルアーにストライクしたら、釣り人はできるだけ速やかにロッドをホルダーから外さなければならない。この規定の意図は、**釣り人がロッドを持って自らストライクし、そしてフックをかける**ことにある。
- 一人の釣り人が何本かのラインを出していて、同時に多数の魚がかかった時は、最初にファイトした魚だけが記録申請の対象となる。
- ダブルラインを使用するのは自由であるが、**ファイトの大部分はシングルラインで行うことが前提**である。ダブルラインやリーダーだけでファイトの大部分を行ってはならない。
- ロッドベルトやウエストジンバルの使用は認められる。
- ボートから釣る時は、リーダーが同乗者の手に掴めるところにくるか、リーダーの端がロッドティップまで巻き上げられた時、1人または複数の人がリーダーを持つことができる。岸釣りまたはウェーディングの釣りをしているアングラークルーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで拘う、あるいはギャフを掛ける際、アングラークルーからロッド1本ぶん以内の距離にいなければならない。
- リーダーを持っている人の他に、1人またはそれ以上の人がギャフを使用してもよい。魚にギャフをかける時、ギャフのハンド

ルは手に持っていないなければならない。

- 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

● 失格となる行為

- 前述の、釣具または釣りの規定に違反する行為。
- 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないしリリースが完了するまで、**釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない**。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラークルー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。
- 魚とのファイト中にロッドホルダーを使う、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される**。
- ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けてはならない。
- サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいても、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
- トローリングまたはキャストイング用のルアーに使われるヘアーまたはポークリンドの他は、**ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)またはベイトとして使用してはならない**。
- 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
- 魚がかかってファイトしている時に、ロッドまたはリールを交換してはならない。
- 魚がかかってファイトしている時に、ラインをつないだり、取り除いたり、足したりしてはならない。
- 故意にファウルフッキング*をしてはならない。
- ダブルライン全体がまったくロッドティップから出ない方法で魚を釣ってはならない。
- 法律・規則で禁止されている種類や大きさのベイトを使用してはならない。
- 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
- 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方法で再捕獲してはならない。
- 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラークルーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

● 失格となる状況

- ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時。
- 取り込みの前にサメなどの魚またはホ乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかき傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはっきり示し、十分な説

明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。

3. 一尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時。
4. その魚を釣る行為が、魚種もしくは釣り場に適用される法律や規則に違反している時。

*印を付けた用語について

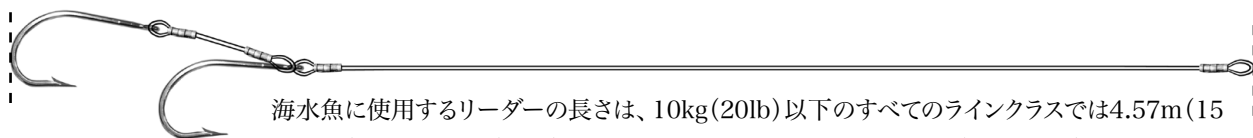
ダングリングフック、 スイングフック	セカンドリーダーに付けられる、スレで魚を 引っかける目的で使用するフック
ドロップ	ラインにハリスを付ける際に作る枝輪
トレーリング材	ルアー・ヘッドに取り付けるスカート等と同じ
ギャングフック	3つ以上のポイントを備えたイカリ針のこと
ファウルフッキング	魚の口以外の部分にハリを引っかけること



ダブルラインとリーダー図解



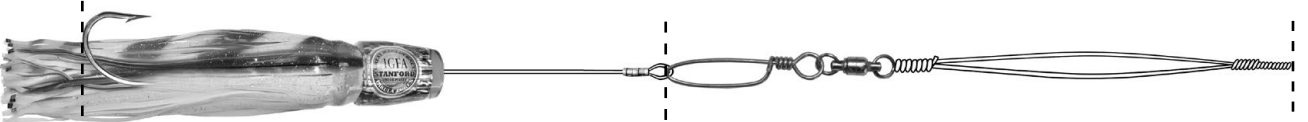
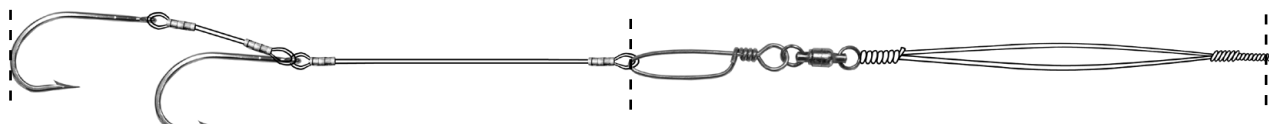
ダブルラインの長さは、ダブルを作っている部分(ノット、編み込み、ロールまたはスプライスなど)の端から、リーダー、ルアー、またはフックなどを取り付けるために使われるノット、スプライス、スナップ、スイベル等の用具のいちばん端までと定義する。ダブルラインは、フィッシングラインそのものをダブルにしたものでなければならない。海水魚用ダブルラインの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは 4.57m (15フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは 9.14m (30フィート) 以内に制限される。淡水魚用ダブルラインの長さは、すべてのラインクラスにおいて1.82m (6フィート) 以内とする。



海水魚に使用するリーダーの長さは、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスでは4.57m (15フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスは9.14m (30フィート) 以内。淡水魚用リーダーの長さは、すべてのラインクラスにおいて1.82m (6フィート) 以内とする。



リーダーの長さとは、ルアー、フック、または他の用具を含めた全体の長さとして定義される。



ダブルラインとリーダーを合わせた長さは、海水魚の場合、10kg (20lb) 以下のすべてのラインクラスで6.1m (20フィート) 以内、10kg (20lb) をこえるすべてのラインクラスでは12.19m (40フィート) 以内とする。淡水魚の場合は、リーダーとダブルラインの合計長は3.04m (10フィート) 以内でなければならない。



フック配列の実例 (餌もしくはルアーを使用する場合)



2本のフックの間隔が、餌を使用する場合は45.72cm (18インチ) 以内、ルアーを使用する場合は30.48cm (12インチ) 以内であること。それ以上離れているなら失格。



2本のフック・アイは、互いにフックの長さ (使用されているフックの大きい方の全長) 以上離れていて、セカンドフック (トレーリングフック) はスカートの中に収まっている。



セカンドフック (トレーリングフック) が完全にスカートから出ているので失格。



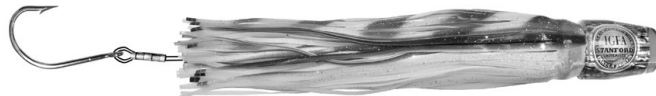
フックはスカートの長さの中に収まっている。



餌、ルアーにかかわらず、2本のフック・アイは、互いにフックの長さ (使用されているフックの大きい方の全長) 以上離れていなければならない。



シングルフックが、完全にスカートから出ている。



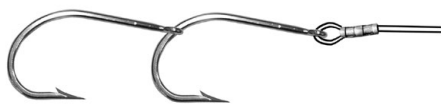
2本のフック・アイは、互いにフックの長さ (使用されているフックの大きい方の全長) 以上離れていて、かつ餌釣り場合は45.72cm (18インチ) 以内、ルアーの場合は30.48cm (12インチ) 以内に収まっている。



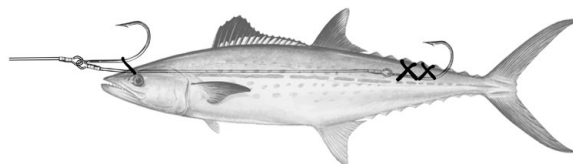
セカンドフックが餌に完全に固定されておらず、ダングリングフックとなっている。



餌釣りおよびルアー釣りを問わず、フックの先端にもう1本のフックのアイを通すことは認められる。



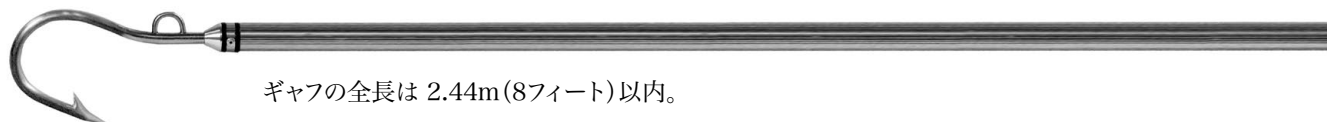
両方のフックが完全に餌に固定されており、2本のフック・アイの間隔は45.72cm (18インチ) 以内に収まっている。



ギャフ



ギャフロープの有効長は9.14m (30フィート) 以内とする。



ギャフの全長は 2.44m (8フィート) 以内。



フック配列の実例 (アシストフックに関するガイド)

アシストフックとは、モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続されるフックのこと。バーチカルジグの普及とともに広く使われるようになり、伝統的なトレブルフックの代替としても人気が高まっている。

近年まで、IGFAはルアーに使用するアシストフックに関する規定を持たなかったが、その普及を受け、以下を新たに定めることとした。モノフィラメント、マルチフィラメント、ワイヤなどの「リード」を介してルアーに接続される、いわゆるアシストフックの類のシングルフックに関しては、以下の規定を遵守すること：スカートなしのルアーにアシストフックを使用する場合、リード

の長さは使用するフック長の1.5倍を超えてはならない。またフックのバンド位置は、ルアーと接続される最近点から4インチ(101mm)を超えてはならない。アシストフックとして、ダブルフックやトレブルフックを使うことはできない。

この新しいルールにより、アシストフックの適切な使用が広まることを期待する。プラグにアシストフックを使用すると、伝統的なダブルフック、トレブルフックなどよりも魚へのダメージがはるかに少なくなると考えられている。



○ リードの長さはフック長の1.5倍以内 (フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。
OK



○ アシストフックは、複数が使用可能。リードをつけたダブルやトレブルフックをアシストフックとして使用することは禁止。
OK



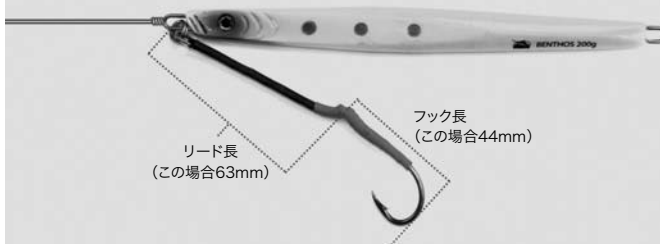
○ アシストフックは、ルアーのどちら側につけても可。
OK



○ アシストフックは、スカートつきのルアー以外、どのようなルアーにも装着できる。
OK



× リード長がフック長の1.5倍を超えている (フックのアイからルアーに装着される最近点までを測定)。
NG



× フックのバンドと、リードがルアーに装着される最近点の間の長さが101mm (4インチ)を超えている。
NG

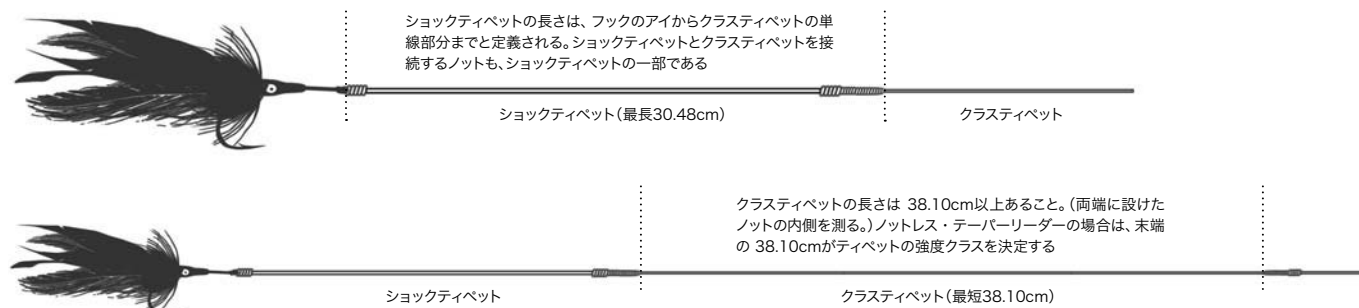
フライフィッシング・ルール

● 釣具の規定

A. ライン

フライラインおよびバックিংは、素材と強度について制限しない。

B. リーダー



リーダーは、フライフィッシングの慣習として一般的に使用されているものとする。リーダーにはクラスティベットおよびショックティベット (後者の使用は任意) が含まれる。フライラインとクラスティベットの間のバットおよびテーパー部分は、リーダーの一部とみなされ、その長さ、材質および強度に関する制限はない。クラスティベットは非金属性の材質とし、フライまたはショックティベットに直接取り付けなければならない。クラスティベットの長さは38.10cm (15インチ) 以上とする (両端に設けたノットの内側を測定)。ノットレス・テーパーリーダーの場合は、末端の38.10cm (15インチ) がティベットのクラスを決定する。クラスティベットに長さの上限はない。クラスティベットの先にショックティベットを付け加えて、フライを結んでもよい。ショックティベットの材質および強度については制限しないが、30.48cm (12インチ) 以内とする。ショックティベットの長さは、フックのアイからクラスティベットのシングル部分までを測る (クラスティベットに接続するためのノット部分もショックティベットとみなされる)。タンデムフックを使用するフライの場合、ショックティベットの長さは先頭のフックのアイから測る。

C. ロッド

素材と継数は自由であるが、ロッドはフライフィッシングの一般的な慣習と良識に従って作られたものであること。ロッドの全長は1.82m (6フィート) 以上とする。アングラーに不当な利益を与えるようなロッドは失格となる。エクステンション・バットの長さは、リールフットの中央から測定して15.24cm (6インチ) 以内。ただし全長3.33m (11フィート) を越えるスเปイロッド、ダブルハンドルフライロッドの場合、エクステンション・バットの長さは25.4cm (10インチ) 以内とする。

D. リール

リールは、フライフィッシング用として専用設計されたものであること。ギヤ比およびドラッグ機構について制限はないが、釣り人が不当な利益を受けると考えられるものは使用できない。電動リール、電子機構を用いたリールは禁止される。

E. フック

フライには、シングルまたはダブルフック、もしくは直列 (タンデム) にした2本のシングルフックを使うことができる。タンデム・フライの第2フックは、ウイング材からはみ出してはならない。2つのアイの間隔は最大15.24cm (6インチ)。トレブルフックは使用できない。

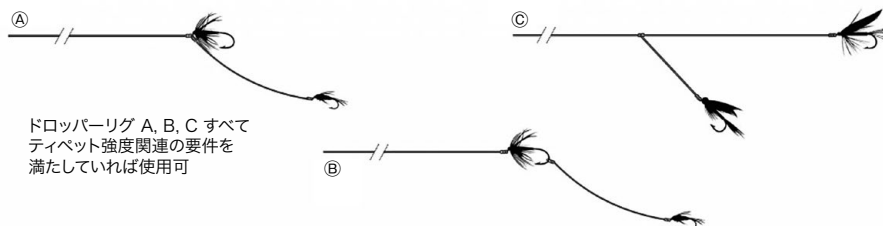
F. フライ

一般的に認められたタイプであること。これにはストリーマー、バックテイル、チューブフライ、ウェットフライ、ドライフライ、ニンフ、ポッパーおよびバグなどが含まれる。ルアー、生餌または保存したベイト (たとえば魚皮など) を単独で、もしくはフライと組み合わせて使用することはかたく禁止する。ドロップパーフライは、下の説明に合致した場合のみ許される。

ドロップパーフライは、サケ科の魚 (マス、グレイリング、サケ各種など) を釣る場合に限り使用可能とし、条件は以下のとおり。

1. ドロップパーフライは、浮かべて使うフライ、沈めて使うフライ、ないしそれらの組み合わせとしてタンデムで使うものとし、リードフライとの合計で2本が許される。
2. ドロップパーフライに接続されたティベット部の強度は、リードフライが接続されたティベット部の強度と同じか、それ未満であること。
3. 釣り上げた魚の申請クラスはリードフライが結ばれたクラスティベットの強度によって決まり、魚が実際にどのフライに掛かったかは不問とする。

フライロッドでキャストすることが可能である、というだけではフライの定義にはならない。魚を絡ませたり、ファウルフッキングさせるために設計されたいかなるフライの使用も禁止する。天然もしくは人工の匂いをフライに付けることはできない。匂い付けされたマテリアルの使用も禁止する。



G. ギャフとネット

魚を取り込む時に使われるギャフおよびネットは、全長が 2.44m (8フィート) 以下とする。(橋、棧橋、またはその他の高い構造物

の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない)。フライングギャフの使用は禁止する。ギャフはシングルフックだけが認められ、モリまたはヤスを取り付けることはできない。ロープをはじめいかなる延長物も、ギャフに取り付けることは禁止されている。

● 釣りの規定

1. 釣り人は、他からの手助けを受けることなくキャストし、フックをかけ、ファイトして、魚をギャフないしネットまで引き寄せなければならぬ。釣り人が魚とファイトしているとき、他の人はギャフ掛けやネット入れの目的でリーダーを持つ行為以外の手助けをしてはならないし、釣り具のどの部分にも触れられない。岸釣りまたはウエーディングの釣りをしているアングラーの取り込みを助ける人は、リーダーを掴む、ネットで掬う、あるいはギャフを掛ける際、アングラーからロッド1本ぶん以内の距離にいないなければならない。
2. キャスティングやリトリートは、通常の慣習に則り、一般的に受け入れられた方法で行わなければならない。キャスティングの要件は、フライの重さでラインを送り出すのではなく、ラインの重さでフライを飛ばすことである。動いているボートの後方にフライを流す事は許されない。魚にフライをキャストする時、およびリトリートの間は、ボートのギヤを完全に外し、ニュートラルか停止の位置にしておかなければならない。リールから事前に出しておけるラインの長さは、フライから測定して36.57m (120フィート)以内とする。
3. 魚がフックにかかった時にエクステンション・バットを追加すること以外は、タックルにいかなる変更も加えてはならない。
4. 魚は、使用しているフライのフックにかけなければならない。小さい魚がフライにかかり、それを大きい魚が呑み込んでしまった場合、大きい魚は記録として認められない。
5. 魚を取り込むために、1人以上の人がギャフ掛けやネット入れの手助けをしてもよい。
6. 釣具と釣りに関する規定は、魚の検量が終わるまで適用される。

● 失格となる行為・状況

1. これまで述べてきた、釣具または釣りの規定に違反する行為。
2. 魚がヒットしてからファイト中、そして取り込みないしリリースが完了するまで、釣り人でない人が、ロッド、リール、およびライン

(ダブルラインも含む)に、直接または間接的に触れることはできない。本ルールで認められたこと以外の手助けは、すべて禁止である。ラインがロッドガイドを通る時に障害となるもの(寄せ餌、浮子を取り付けるためのライン、ゴムバンドなど)を取りのぞく際にも、ラインに手や体の一部が触れてはならない。アングラー以外がラインに触ることは、いかなる場合も禁止される。

3. 魚とのファイト中に、船べりやその他の物体にロッドをもたせ掛けたりする等の行為は禁止される。
4. ラインを手繰って魚を取り込む行為や手釣りは禁止されている。いかなる方法であっても、魚を保持したり引き上げておくために、リーダーまたはラインにハンドラインやロープを取り付けてならない。
5. 故意にファウルフッキング*をしてはいけない。
6. サメやオヒョウを含め、いかなる魚の取り込みにおいて、銃で撃ったり、モリやヤスで突いてはならない。
7. ホ乳動物の肉、血、皮またはその他の部分をチャム(寄せ餌)として使用してはならない。
8. 魚が正常に泳ぐ能力を奪うために、ボートや道具を使用して魚を浜に追い上げたり、浅瀬に追い込んだりしてはならない。
9. 魚を保持したり引き上げるため、釣り人のラインまたはリーダーをボートまたは他の物体に取り付けてはならない。
10. 取り込み直前に逃げた魚を、当ルールに定められた以外の方法で再捕獲してはならない。
11. ロッドが最低寸法より短くなったり、その性能をひどく減じるような方法で折れた時は失格となる。
12. 1尾の魚が複数のラインにかかった、あるいは絡んだ時は失格となる。
13. 取り込みの前にサメなどの魚またはホ乳動物などにかまれた、プロペラに当たったなどの理由で、釣り上げた魚の肉が削げたり、体に傷がついた場合(リーダーまたはラインによる傷、引っかき傷、古い回復した傷跡、再生による体型の変形などは失格する傷とはみなされない)。魚のすべての損傷は、写真にはっきり示し、十分な説明を記入した報告書を記録申請に添付しなければならない。
14. 魚とのファイトを助ける、あるいはかかった力を逃がすようなやり方でアングラーを支えたり、触ったりしてはならない。ただし、転倒を避けるために短時間だけ触る、支えるなどの行為は許される。

オールタックル・レンジス・レコードに関するルール

● 一般情報

レンジス・レコードに申請する魚は、すべて現場で計測を行い、リリースをして良好な状態で泳ぎ去っていくのを確認しなければならない。有効なリリースのためには、水中で魚を保持し、エラに水を通して回復を待つこと。レンジス・レコードに申請した場合、その他のカテゴリーに申請することはできない。

● 釣具と釣りに関する規則

淡水および海水のコンベンショナルおよびフライタックルに適用されるIGFA ルールが当てはまるが、以下の例外を設ける。釣具と釣

りに関する規定は、魚の測定が終わり、リリースが完了するまで適用される。

A. ギャフとネット

1. 魚を取り込むためにギャフを使用することはできない。
2. ネットは、全長が2.44m(8フィート)を超えないこと(橋、栈橋、またはその他の高い構造物の上から釣る時は、この長さの制限は適用されない)。
3. 魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットあるいは類似の製品の使用が推奨される。

B. メジャー

1. 計測は、IGFAの販売する専用メジャーを使用する。
2. メジャーが長すぎる場合はカットしてもよいが、つなぐことはできない。

● 釣りの規定

以下の場合失格となる。

1. 釣具と釣りに関するIGFAルールに違反した場合。
2. 計測中に魚が死亡した、あるいはリリース後に遊泳が確認できなかった場合。

● レングス・レコード認定に関する諸規則

その他のレコード・カテゴリと同じ規則が適用されるが、以下の追加や例外を設定した。

A. 計測に関する規則

1. 計測は、平らな面にIGFAメジャーを置いて行う。
2. 魚の吻端はIGFAメジャーの起点に設けた「つい立て」に接触していること。ルアーやフィッシュグリップなどは取り外す。
3. 魚をIGFAメジャー上に置いた状態で、尾ビレの端の中心位置までを測る。
4. 計測はセンチメートル単位で行う。
5. 単位は切り捨てとする。45センチと46センチの間に来た場合、申請できる長さは45センチになる。

B. 空白カテゴリーに申請するための最小寸法

レングス・レコードの空白カテゴリーに申請する魚の寸法は、対象魚種リストに示されているとおり、該当種の最大記録の半分以上なければならない。

C. 記録更新もしくはタイ記録達成のための最小寸法

1. 既存の記録を更新するためには、少なくとも2cmが必要である。
2. 既存記録とまったく同寸、および長さは上回っているものの差が2cm未満の魚は、タイ記録とみなされる。タイ記録申請に3尾以上の魚が関係してくる場合は、オリジナルの記録（最初にキャッチされた魚）と寸法を比較する。オリジナルの記録（最初にキャッチされた魚）より小さな魚は審査を行わない。釣り上

げた魚が同一人物による既存記録とタイになるためには、既存記録を最低1センチメートル上回っていること。

D. 申請書に添付する写真は、以下の情報を含まなければならない。

1. IGFAメジャーに乗せ、口吻と尾ビレの位置がはっきりとわかる魚の全体写真。手を添えても良いが、メジャーの目盛りの読み取りを妨げるような写真は受け入れない。
2. メジャー上に乗せた魚の吻端と尾ビレの位置がはっきりとわかるクローズアップ写真。
3. 釣り人が魚を持っている写真。
4. ロッドとリールの写真。

● 魚のハンドリングについて

魚を水から上げ、計測を行って申請写真を撮影する際には、魚のヌルや鱗に与える損傷を最小限に抑えるため、ラバーコーティングを施した結び目のないネットなどを使用すべきである。魚の唇に掛けるフィッシュグリップの類も使用可能であるが、大型の魚は垂直に持ち上げてはならない。唇まわりの筋肉、骨組織、あるいは内臓を損傷する危険がある。手を使って魚を水から上げる場合は、片手で下唇を持ち、もう一方の手で魚を下から支えるようにする。魚は水平に持ち上げ、決して垂直にしないこと。

● 計測について

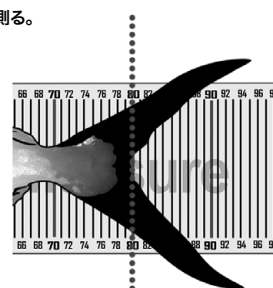
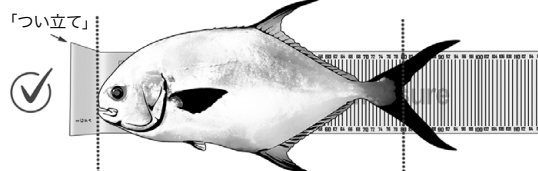
IGFA記録に申請するためには、魚の寸法を計測し、写真を撮影することになる。いずれも一定の時間を必要とするので、魚を取り込むまえに必要な用具類を準備しておくことが望ましい。計測や撮影にかかる時間が数分間にわたる場合は、魚をひんぱんに水に入れるか、ライブウェルを活用し、呼吸をさせてやること。

● リリースについて

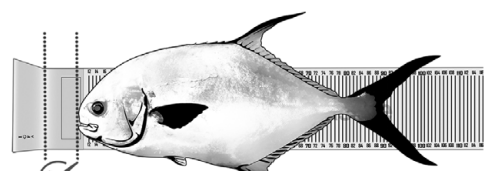
魚のリリースにあたっては、時間と注意が必要である。まず魚を水に入れ、尾ビレの根本を握る。魚が自発的に身を振って泳ぎ去っていかない場合は、エラに水を通すためにそっと前に動かしてやる。エラは一方向への水の流れにしか対応できないので、前後には動かさないほうが良い。ゆっくりと円を描くように動かすか、ポートを低速で走らせるのは良い方法である。

IGFA メジャーの上に魚を乗せ、吻端から尾ビレ末端の中心位置までを測る。

吻端は「つい立て」に直接当たり、手やフライ、フィッシュグリップの類いが干渉していないこと。



計測はセンチメートル単位で行い、端数は切り捨てる。



吻端が「つい立て」に当たっていないケース。



IGFA メジャーは平らな面において計測し、シワや折れがないこと。



世界記録の必要事項

IGFAルールに従って釣った魚だけが、世界記録の対象となる。
以下に、記録の部門、必要事項および記録申請の手続について記述する。

世界記録のカテゴリー

● 一般事項

IGFAはラインクラスおよびティベットクラス、それにオールタックルの各部門で、海と淡水のゲームフィッシュを対象として世界記録を認定管理する。世界記録として認定される魚の重量は0.453kg (1lb)以上なければならない。既存記録更新のためには、あらかじめ定められた重量差が存在することが前提となる。また新規認定のためには最低重量規則が適用される。

ふ化場、禁漁区、商業用に魚が放流された小さな水域で釣った魚は対象にならない。IGFAは、それぞれの申請に関してケース・バイ・ケースで上記の基準を適用する権利を有する。また釣りの行為は、その魚種および釣り場に適用される法律および規則に違反するものであってはならない。

IGFAの記録対象の新しい魚種が追加される場合には施行期日が発表され、施行期日以後に釣れたものが認定の対象となる。施行期日前のものについては対象とならない。『World Record Game Fishes』または他のIGFA出版物における魚種の追加発表は、公式な発表とみなされる。

同一人物が、同じ日に同じ種類の記録対象魚を複数釣った場合、もっとも重い(長い)もの、あるいは同重量の場合はもっとも長いものだけが申請受理の対象となる。

● オールタックル部門

オールタックル記録とは、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最高重量である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

オールタックル部門の記録申請対象はすべての魚種とし、「海水魚」「淡水魚」「フライフィッシング」に関するIGFAルールのいずれかが適用される。

ラインクラスおよびティベットクラスの対象魚リストに含まれていない魚種の申請は、下記の基準に合ったものであること。

1. 魚は、認められた学名を代表するものであること。
2. 魚は、申請書に添付された写真やその他のデータによって確認できること。
3. 魚は、トロフィーサイズと思われる大きさであること。その種に関し、報告された最大重量の2分の1以上目安とする。最大重量データが存在しない場合は最大体長で代用し、その2分の1以上があること。最大重量および最大体長データは、フィッシュベースwww.fishbase.orgをはじめ、定評のある各種ソースを参照する。
4. 魚は、トロフィーサイズと思われる大きさであること。その種の最大重量の2分の1以上でなければならない。

● オールタックル・レンジス部門 (コンベンショナル)

オールタックル・レンジス記録 (コンベンショナルカテゴリー)は、60kg (130lb)までのラインクラスで釣られ、リリースされた魚の最大長である。ラインクラスの最大は60kg (130lb)までとし、それ以上のラインを使用した場合は失格となる。

● オールタックル・レンジス部門 (フライ)

オールタックル・レンジス記録 (フライカテゴリー)は、10kg (20lb)までのティベットクラスで釣られ、リリースされた魚の最大長である。それを超える強度のティベットを使用した場合は、コンベンショナルカテゴリーの申請として対応する。

● ジュニア・アングラー部門

ジュニア世界記録は、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最大重量である。ジュニアカテゴリーとは、11歳から16歳までのアングラーを対象とし、男女の別がある。対象魚は、ラインクラスおよびティベットクラス世界記録と同じである。釣りの規則としてはIGFAルールが適用されるが、魚を計測する場所は陸上に限定しない。

● スモールフライ部門

スモールフライ世界記録は、60kg (130lb)までの全ラインクラスで釣られた魚の最大重量である。スモールフライカテゴリーとは、10歳以下のアングラーを対象とし、男女の別がある。対象魚は、ラインクラスおよびティベットクラス世界記録と同じである。釣りの規則としてはIGFAルールが適用されるが、魚を計測する場所は陸上に限定しない。

● ラインクラスおよびフライロッド部門

ラインクラスの記録は、クラスラインの強度によって区分される。フライロッドの世界記録は、クラスティベットの強度によって区別される。

ラインクラス世界記録の対象魚種とフライロッド世界記録の対象魚種は同じである。ラインクラスとティベットクラスは以下のとおり。

ラインクラス

メートル法 (kg)	1	2	3	4	6	8	10	15	24	37	60
ポンド表記 (lb)	2	4	6	8	12	16	20	30	50	80	130

ティベットクラス

メートル法 (kg)	1	2	3	4	6	8	10
ポンド表記 (lb)	2	4	6	8	12	16	20

【淡水魚の海および汽水でのキャッチについて】

淡水魚部門に記載されている魚は、海または汽水で釣ったものも淡水魚の世界記録として認められる。ただし釣り具および釣り方は「淡水魚」のルールに基づいたものでなければならない。

オールタックル世界記録を除き、魚種によってラインクラスが限定されている場合がある。種類ごとの最大ラインクラスは以下のとおりとする。

淡水魚 Freshwater Species		
日本名	英名／学名	最大ラインクラス
アロワナ	Arawana / <i>Osteoglossum bicirrhosum</i>	10kg(20lb)
	Asp / <i>Leuciscus aspius</i>	10kg(20lb)
	Barbel / <i>Barbus barbus</i>	10kg(20lb)
バラムンディ	Barramundi / <i>Lates calcarifer</i>	37kg(80lb)
	Bass, Australian / <i>Macquaria colonorum</i>	8kg(16lb)
オオクチバス	Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>	10kg(20lb)
オクチバス	Bass, smallmouth / <i>Micropterus dolomieu</i>	8kg(16lb)
スポッテッドバス	Bass, spotted / <i>Micropterus punctulatus</i>	10kg(20lb)
ストライプトバス(陸封型)	Bass, striped (landlocked) / <i>Morone saxatilis</i>	24kg(50lb)
ホワイトロックバス	Bass, whiterock / <i>Morone saxatilis</i> x <i>Morone chrysops</i>	10kg(20lb)
ボウフィン	Bowfin / <i>Amia calva</i>	15kg(30lb)
ブリコン属	Brycon / <i>Brycon</i> spp.	10kg(20lb)
	Buffalo, bigmouth / <i>Ictiobus cyprinellus</i>	37kg(80lb)
	Buffalo, smallmouth / <i>Ictiobus bubalus</i>	24kg(50lb)
コイ	Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>	24kg(50lb)
ソウギョ	Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	37kg(80lb)
ブルーキャットフィッシュ	Catfish, blue / <i>Ictalurus furcatus</i>	60kg(130lb)
チャネルキャットフィッシュ	Catfish, channel / <i>Ictalurus punctatus</i>	37kg(80lb)
	Catfish, flathead / <i>Pylodictis olivaris</i>	60kg(130lb)
	Catfish, redbell / <i>Phractocephalus hemiliopterus</i>	60kg(130lb)
	Catfish, sharp-tooth / <i>Clarias gariepinus</i>	60kg(130lb)
	Char, Arctic / <i>Salvelinus alpinus</i>	15kg(30lb)
	Dolly Varden / <i>Salvelinus malma</i>	6kg(12lb)
	Dorado / <i>Salminus brasiliensis</i>	37kg(80lb)
	Gar, alligator / <i>Lepisosteus spatula</i>	60kg(130lb)
	Gar, longnose / <i>Lepisosteus osseus</i>	37kg(80lb)
	Grayling / <i>Thymallus thymallus</i>	4kg(8lb)
	Grayling, Arctic / <i>Thymallus arcticus</i>	6kg(12lb)
	Huchen / <i>Hucho hucho</i>	60kg(130lb)
	Inconnu / <i>Stenodus leucichthys</i>	37kg(80lb)
	Kokanee / <i>Oncorhynchus nerka</i>	8kg(16lb)
	Muskellunge / <i>Esox masquinongy</i>	37kg(80lb)
	Muskellunge, tiger / <i>Esox masquinongy</i> x <i>E. lucius</i>	24kg(50lb)
	Nembwe / <i>Serranochromis robustus</i>	8kg(16lb)
	Payara / <i>Hydrolicus scomberoides</i>	10kg(20lb)
	Peacock, black-striped / <i>Cichla intermedia</i>	8kg(16lb)
ブルービーコック	Peacock, Blue / <i>Cichla piquiti</i>	10kg(20lb)
	Peacock, butterfly / <i>Cichla ocellaris</i>	10kg(20lb)
	Peacock, Orinoco / <i>Cichla orinocensis</i>	10kg(20lb)
	Peacock, speckled / <i>Cichla temensis</i>	15kg(30lb)
	Pellona, Amazon / <i>Pellona castelneana</i>	15kg(30lb)
ナイルパーチ	Perch, Nile / <i>Lates niloticus</i>	60kg(130lb)
ノーザンバイク	Pike, northern / <i>Esox lucius</i>	37kg(80lb)
タイセイヨウサケ	Salmon, Atlantic / <i>Salmo salar</i>	60kg(130lb)
タイセイヨウサケ(陸封型)	Salmon, Atlantic (landlocked) / <i>Salmo salar</i>	15kg(30lb)
マスノスケ	Salmon, chinook / <i>Oncorhynchus tshawytscha</i>	60kg(130lb)
シロザケ	Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i>	15kg(30lb)
ギンザケ	Salmon, coho / <i>Oncorhynchus kisutch</i>	24kg(50lb)
カラフトマス	Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	15kg(30lb)
ベニザケ	Salmon, sockeye / <i>Oncorhynchus nerka</i>	15kg(30lb)
スネークヘッド類	Snakehead / <i>Channa</i> spp.	24kg(50lb)
ウラウチフエダイ	Snapper, Papuan black / <i>Lutjanus goldiei</i>	37kg(80lb)
	Sorubim / <i>Pseudoplatystoma</i> spp.	60kg(130lb)
チョウザメ類	Sturgeon / <i>Acipenseridae</i> family	60kg(130lb)
タイメン	Taimen / <i>Hucho taimen</i>	60kg(130lb)
	Tambaqui / <i>Colossoma macropomum</i>	60kg(130lb)
タイガーフィッシュ	Tigerfish / <i>Hydrocynus vittatus</i>	24kg(50lb)
	Tigerfish, giant / <i>Hydrocynus goliath</i>	60kg(130lb)
	Trahira / <i>Hoplias</i> spp.	24kg(50lb)
ブルックトラウト	Trout, brook / <i>Salvelinus fontinalis</i>	10kg(20lb)
ブラウントラウト	Trout, brown / <i>Salmo trutta</i>	37kg(80lb)
ブルトラウト	Trout, bull / <i>Salvelinus confluentus</i>	10kg(20lb)
カッツロートトラウト	Trout, cutthroat / <i>Oncorhynchus clarki</i>	15kg(30lb)
ゴールドトラウト	Trout, golden / <i>Oncorhynchus aguabonita</i>	10kg(20lb)
レイクトラウト	Trout, lake / <i>Salvelinus namaycush</i>	60kg(130lb)
ニジマス	Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i>	37kg(60lb)
タイガートラウト	Trout, tiger / <i>Salmo trutta</i> x <i>Salvelinus fontinalis</i>	15kg(30lb)
ウォールアイ	Walleye / <i>Stizostedion vitreum</i>	15kg(30lb)
	Wels / <i>Silurus glanis</i>	60kg(130lb)
ザンダー	Zander / <i>Stizostedion lucioperca</i>	15kg(30lb)

海水魚 Saltwater Species		
日本名	英名／学名	最大ラインクラス
ピンナガ	Albacore / <i>Thunnus alalunga</i>	60kg(130lb)
カンパチ	Amberjack, greater / <i>Seriola lalandi</i>	60kg(130lb)
オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyrna barracuda</i>	60kg(130lb)
	Barracuda, Guinean / <i>Sphyrna afra</i>	60kg(130lb)
	Barracuda, Mexican / <i>Sphyrna ensis</i>	24kg(50lb)
	Bass, European / <i>Dicentrarchus labrax</i>	15kg(30lb)
コクチイシナギ	Bass, giant sea / <i>Stereolepis gigas</i>	60kg(130lb)
	Bass, kelp (calico) / <i>Paralabrax clathratus</i>	10kg(20lb)
ストライプトバス	Bass, striped / <i>Morone saxatilis</i>	60kg(130lb)
アミキリ	Bluefish / <i>Pomatomus saltatrix</i>	24kg(50lb)
ボーンフィッシュ(大西洋)	Bonefish, Atlantic / <i>Albula</i> spp.	15kg(30lb)
ボーンフィッシュ(太平洋)	Bonefish, Pacific / <i>Albula</i> spp.	15kg(30lb)
	Bonito, Atlantic / <i>Sarda sarda</i>	15kg(30lb)
ハガツオ類	Bonito, Pacific / <i>Sarda</i> spp.	15kg(30lb)
ブリ	Buri, Japanese Amberjack / <i>Seriola quinqueradiata</i>	37kg(80lb)
スギ	Cobia / <i>Rachycentron canadum</i>	60kg(130lb)
	Cod, Atlantic / <i>Gadus morhua</i>	37kg(80lb)
マダラ	Cod, Pacific / <i>Gadus macrocephalus</i>	24kg(50lb)
	Conger / <i>Conger conger</i>	60kg(130lb)
	Corbina, California / <i>Menticirrhus undulatus</i>	8kg(16lb)
	Dentex / <i>Dentex dentex</i>	24kg(50lb)
シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	60kg(130lb)
	Drum, black / <i>Pogonias cromis</i>	60kg(130lb)

	Drum, red / <i>Sciaenops ocellatus</i>	60kg(130lb)
	Flounder, summer / <i>Paralichthys dentatus</i>	15kg(30lb)
	Grouper, black / <i>Mycteroperca bonaci</i>	60kg(130lb)
	Grouper, broomtail / <i>Mycteroperca xenarcha</i>	60kg(130lb)
	Grouper, gag / <i>Mycteroperca microlepis</i>	60kg(130lb)
	Grouper, goliath / <i>Epinephelus itajara</i>	60kg(130lb)
	Grouper, red / <i>Epinephelus morio</i>	37kg(80lb)
	Halibut, Atlantic / <i>Hippoglossus hippoglossus</i>	60kg(130lb)
	Halibut, California / <i>Paralichthys californicus</i>	37kg(80lb)
オヒョウ	Halibut, Pacific / <i>Hippoglossus stenolepis</i>	60kg(130lb)
ヒレナガカンパチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
	Jack, crevalle / <i>Caranx hippos</i>	37kg(80lb)
	Jack, horse-eye / <i>Caranx latus</i>	24kg(50lb)
	Jack, Pacific crevalle / <i>Caranx caninus</i>	24kg(50lb)
スマ	Kahawai / <i>Arripis</i> spp.	24kg(50lb)
カライワシ類	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i>	15kg(30lb)
	Ladyfish / <i>Elops</i> spp.	15kg(30lb)
	Leerfish (Garrick) / <i>Lichia amia</i>	37kg(80lb)
	Lingcod / <i>Ophiodon elongatus</i>	37kg(80lb)
	Mackerel, cero / <i>Scomberomorus regalis</i>	15kg(30lb)
	Mackerel, king / <i>Scomberomorus cavalla</i>	60kg(130lb)
ヨコシマサワラ	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	60kg(130lb)
	Mackerel, Pacific sierra / <i>Scomberomorus sierra</i>	15kg(30lb)
	Mackerel, Spanish / <i>Scomberomorus maculatus</i>	10kg(20lb)
マダイ	Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
シロカジキ	Marlin, black / <i>Makaira indica</i>	60kg(130lb)
ニシロカジキ	Marlin, blue (Atlantic) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
クロカジキ	Marlin, blue (Pacific) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
マジキ	Marlin, striped / <i>Tetrapturus audax</i>	60kg(130lb)
ニシマジキ	Marlin, white / <i>Tetrapturus albidus</i>	60kg(130lb)
オオニベ類	Meagre / <i>Argyrosomus</i> spp.	60kg(130lb)
ミルクフィッシュ(サバヒー)	Milkfish / <i>Chanos chanos</i>	37kg(80lb)
バーミット	Permit / <i>Trachinotus falcatus</i>	37kg(80lb)
	Pollack, European / <i>Pollachius pollachius</i>	24kg(50lb)
	Pollock / <i>Pollachius virens</i>	37kg(80lb)
イトヒキアジ	Pompano, African / <i>Alectis ciliaris</i>	37kg(80lb)
マルコバン	Pompano, snubnose / <i>Trachinotus blochii</i>	10kg(20lb)
	Queenfish, talang / <i>Scomberoides commersonianus</i>	24kg(50lb)
	Rockfish, yelloweye / <i>Sebastes ruberrimus</i>	24kg(50lb)
	Roosterfish / <i>Nematistius pectoralis</i>	60kg(130lb)
ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elogatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
バショウカジキ(大西洋)	Sailfish, Atlantic / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
バショウカジキ(太平洋)	Sailfish, Pacific / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
サムソンフィッシュ	Samson Fish / <i>Seriola hippos</i>	60kg(130lb)
ヒラスズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latius</i>	15kg(30lb)
スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	24kg(50lb)
	Seabass, white / <i>Atractoscion nobilis</i>	60kg(130lb)
	Seabream, gilthead / <i>Sparus aurata</i>	24kg(50lb)
	Seatrout, spotted / <i>Cynoscion nebulosus</i>	10kg(20lb)
	Shark, blacktip / <i>Carcharhinus limbatus</i>	60kg(130lb)
ヨシキリザメ	Shark, blue / <i>Prionace glauca</i>	60kg(130lb)
	Shark, bonnethead / <i>Sphyrna tiburo</i>	15kg(30lb)
シュモクザメ類	Shark, hammerhead / <i>Sphyrna</i> spp.	60kg(130lb)
アオザメ類	Shark, mako / <i>Isurus</i> spp.	60kg(130lb)
	Shark, porbeagle / <i>Lamna nasus</i>	60kg(130lb)
オナガザメ類	Shark, thresher / <i>Alopias</i> spp.	60kg(130lb)
イタチザメ	Shark, tiger / <i>Galeocerdo cuvier</i>	60kg(130lb)
	Shark, tope / <i>Galeorhinus galeus</i>	60kg(130lb)
	Sharks, whaler / <i>Carcharhinidae</i> family.	60kg(130lb)
ホホジロザメ	Shark, white / <i>Carcharodon carcharias</i>	60kg(130lb)
シースヘッド	Sheepshead / <i>Archosargus probatocephalus</i>	15kg(30lb)
	Skipjack, black / <i>Euthynnus lineatus</i>	15kg(30lb)
	Snapper (squirefish) / <i>Pagrus auratus</i>	24kg(50lb)
	Snapper, African red / <i>Lutjanus agennes</i>	60kg(130lb)
	Snapper, Atlantic cubera / <i>Lutjanus cyanopterus</i>	60kg(130lb)
	Snapper, grey / <i>Lutjanus griseus</i>	15kg(30lb)
	Snapper, mullet / <i>Lutjanus aratus</i>	37kg(80lb)
	Snapper, mutton / <i>Lutjanus analis</i>	24kg(50lb)
	Snapper, Pacific cubera / <i>Lutjanus novemfasciatus</i>	60kg(130lb)
	Snapper, red / <i>Lutjanus campechanus</i>	37kg(80lb)
	Snapper, yellowtail / <i>Ocyurus crysurus</i>	10kg(20lb)
スヌーク(大西洋)	Snook, Atlantic / <i>Centropomus</i> spp.	37kg(80lb)
スヌーク(太平洋)	Snook, Pacific / <i>Centropomus</i> spp.	37kg(80lb)
	Spearfish, Atlantic / <i>Tetrapturus</i> spp.	37kg(80lb)
フウライカジキ	Spearfish, shortbill / <i>Tetrapturus angustirostris</i>	60kg(130lb)
メカジキ	Swordfish / <i>Xiphias gladius</i>	60kg(130lb)
ターボン	Tarpon / <i>Megalops atlanticus</i>	60kg(130lb)
	Tautog / <i>Tautoga onitis</i>	24kg(50lb)
	Threadfin, giant African / <i>Polydactylus quadrifilis</i>	60kg(130lb)
	Threadfin, king / <i>Polydactylus macrochir</i>	24kg(50lb)
ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	24kg(50lb)
カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	24kg(50lb)
ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>Caranx ignobilis</i>	60kg(130lb)
コガネシマアジ	Trevally, golden / <i>Gnathanodon speciosus</i>	24kg(50lb)
シマアジ	Trevally,White (Silver) / <i>Pseudocaranx dentex</i>	24kg(50lb)
マツダイ	Tripletail / <i>Lobotes surinamensis</i>	37kg(80lb)
メバチ(大西洋)	Tuna, bigeye (Atlantic) / <i>Thunnus obesus</i>	60kg(130lb)
メバチ(太平洋)	Tuna, bigeye (Pacific) / <i>Thunnus obesus</i>	60kg(130lb)
タイセイヨウマグロ	Tuna, blackfin / <i>Thunnus atlanticus</i>	37kg(80lb)
クロマグロ(大西洋)	Tuna, bluefin / <i>Thunnus thynnus</i>	60kg(130lb)
イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
コシナガ	Tuna, longtail / <i>Thunnus tonggol</i>	60kg(130lb)
クロマグロ(太平洋)	Tuna, Pacific bluefin / <i>Thunnus orientalis</i>	60kg(130lb)
カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
ミナミマグロ	Tuna, southern bluefin / <i>Thunnus maccoyi</i>	60kg(130lb)
キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
	Tunny, little / <i>Euthynnus alletteratus</i>	24kg(50lb)
カマスサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
	Weakfish / <i>Cynoscion regalis</i>	15kg(30lb)
ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i>	60kg(130lb)
ミナミヒラマサ	Yellowtail, southern / <i>Seriola lalandi lalandi</i>	60kg(130lb)

● ラインの強度試験

IGFAは世界記録申請書とともに提出されたラインおよびティベットのすべてについて、メートル法表示のラインクラスに従って試験を実施する。例えば、4kgは実際には8.81lbに相当するので、8ポンドクラスに使用するラインの強度上限は8.81lb (4kg)となる。IGFAが採用するメートル法表示はアメリカ慣習のポンド表示とは異なるので注意されたい。比較は右表の通りである。

換算表

kg	1	2	3	4	6	8	10	15	24	37	60
lb	2.2	4.40	6.6	8.8	13.22	17.63	22.04	33.06	52.91	81.57	132.27

記録申請のために提出されたラインまたはティベットのサンプルは、IGFAが定める項目に従って、国家の認めた計量法で一律にテストする。

注：IGFA および JGFA はラインまたはティベットに関し、『ラインテストサービス』を会員に限り、実施している。(有料)

記録認定に関する諸規則

● 一般事項

1. 記録申請または現在の記録に対する異議の申し立てについては、IGFAの執行委員会が判断を行う。執行委員会の判断は最終的である。IGFAはすべての記録申請を承認または却下する権利を有する。IGFAが下すあらゆる判断は、IGFAルール の理念に基づくものである。
2. IGFAルールに関する要求や訴訟は、フロリダ州法に従って処理されるものとする。(この項の詳細は省略)
3. 記録に対して賞金が用意されている場合、IGFAは世界記録認定を行わない。
4. IGFAの役員、レプレゼンタティブ、または各地のIGFAクラブ代表は、申請内容の再確認を依頼される場合がある。これは申請内容に対する疑惑のゆえではなく、IGFAが記録を調査し、維持するために行う細心の注意の証と解釈されたい。

● 魚種の確認

1. 申請書には、正確な魚種確認を可能にする写真が必要となる。「写真撮影の注意点」をよく読み、World Record Game Fishesに掲載された同定ガイドを参照して、種類判断のためには魚のどのような特徴に注目すべきかを知ること。写真を伴わない申請書は受け付けない。
2. 写真などの提出データを使用しても適切な種類判断が困難となる可能性がある場合には、魚類学者または魚類生物学者による実際の確認を受けたうえでIGFAに申請しなければいけない。その場合には、IGFAの申請書または魚の同定書類に研究者の肩書と署名(あるいは資格)が必要となる。
3. 申請時点で科学者に確認してもらえない場合、後に適任者が確認するか、IGFAから保管の必要がないとの連絡が行くまで、魚を塩蔵または冷凍状態で保管する。
4. 写真で魚種の判断ができず、また釣り人も証拠となるものが提出できなかった場合、その申請は却下される。

● 釣魚の現認

記録申請には、現認者がいることが望ましい。証人のいない釣果は、その妥当性に疑義が生じた場合に却下されることがある。また、釣り人が IGFA ルールに従ったことを証言できる人の存在も重要である。

● 記録申請に必要な最低重量

すべてのラインクラスおよびティベットのクラスに関し、申請魚の最低重量はライン強度の半分とする。計算はポンド表記に基づいて行うので、たとえば6kg(12lb)ラインクラスに申請するためには、少なくとも実測6lbすなわち2.72kgの重量が必要である。(2019年5月1日発効)

記録更新またはタイ記録に関して

1. 11.33kg (25lb) 未満の魚の記録更新は、現在の記録より少なくとも 56.69g (2オンス) 以上の付加重量がなければいけない。
2. 11.33kg (25lb) 以上の重量がある魚の記録更新は、現在の記録より 0.5%以上の付加重量がなければいけない。
〈例〉45.35kgの記録を更新するには、 $45.35\text{kg} \times 0.005 = 226.7\text{g}$ (8オンス)、90.71kgの記録を更新するためには、 $90.71\text{kg} \times 0.005 = 0.45\text{kg}$ (1lb) 以上の付加重量がなければ記録を更新できない。
3. 釣った魚の重量が現在の記録と同じか、またはそれ以上であっても差が付加重量以内の場合は、タイ記録とみなされる。二つ以上のタイ記録の申請は最初の記録(一番最初の記録魚)を超えるものがタイ記録と認定される。最初の記録より重量が小さい時はタイ記録とみなされない。
釣り上げた魚が同一人物による既存記録とタイになるためには、既存記録を最低28.35g (1オンス) 上回っていないといけない。
4. 推定による重量は認められない(釣魚の計量規定を参照のこと)。また、オンスの端数、メートル法の同値は認められない。

● 申請期限

オールタックル記録を除き、アメリカの水域で釣った魚の記録申請は、釣った日から60日以内にIGFAに受理されなければいけない。その他の水域で釣った魚の記録申請は、釣った日から 90日以内にIGFAに受理されなければいけない。

過去に釣った魚のオールタックル部門への記録申請は、下記の要件を満たす場合にのみ審査の対象となる。

- (1) 妥当な複数の写真が提出されていること。
- (2) その魚の重量が明確に証明されていること。
- (3) 釣法が証明されていること。

過去になされた捕獲についてはIGFAの世界記録申請書にでき

るだけ多くの情報を記入し、追加の実証的データと共に提出されなければならない。もし記録申請に不備がある場合は、不備についての説明書を添付し、次の条件に合っていれば記録審査が行われる。

1. 不備な点の理由説明書が上記期間内にIGFAに届けられた時。
2. 不備な点は、申請者の不可抗力と認められた時。
3. 不備な点は、諸事情を考慮して妥当とみなされる時間内に不足の資料を提出しなければいけない。不備のある申請に対する最終的な決定はIGFAの執行委員会によってなされる。

● 釣魚の計量測定

1. 釣魚は、政府機関や公式な精度認定団体によって認証を受けたハカリを使って計測しなければならない。釣魚の重量と利害関係のない人をできるだけ立ち合わせる。ハカリは、少なくとも年に1回精度認証を受けること。もしそのハカリが精度認証を受けていない場合は、できるだけ速やかに検査し、正確であることを証明しなければならない。魚を計測した時の状態に関する正式な報告書を申請書に添付すること。
2. ハカリの上に魚を固定するために板、袋またはロープなどを使用した場合は、その重量を計り、全体の重量から差し引かなければいけない。(写真を撮り提出する。)
3. 計量する時、釣り人が実際にその魚を釣る時に使用した釣り具を計量人と立合人に提示しなければいけない。
4. 推定による重量は認められない。ジュニア、スモールフライ記録を除き、海または内水面の船や、水に浮かぶ物体上で計量したものは認められない。
5. ハカリの目盛りに表示された重量だけが認められる。これらの目盛りの微量な端数を目安に読んではいけない。ハカリが二つの目盛りの間を指した時は低い方の数値とする。
6. ハカリに関する疑義が生じた場合、IGFAは精度認証を要求する権利を有する。

● 記録申請の必要事項

世界記録を申請する際には、IGFAの申請書と、その魚を釣るのに使用した指定の長さのラインやリーダー以下の仕掛けを提出する。釣った魚と使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚が同時に収まっている写真も添付する。

● 記録申請書

世界記録の申請には、IGFAの定める世界記録申請用紙を使用しなければいけない。www.igfa.org ないし最新のWorld Record Game Fishes に掲載されているものを使用すること。旧バージョンを使うことはできない。

申請書には、釣り人が使用したラインまたはティベットの強度を記入しなければいけない。ラインクラスまたはティベットクラス記録に関しては、使用した製品の表記強度が該当するIGFAラインクラスまたはティベットクラスを決定する(「世界記録のカテゴリー」を参照のこと)。すべてのラインは、表記された強度どおりであるか、IGFAが実際に検査を行う。ラインやティベットの試験結果が所定のクラスの強さを超えた(オーバーテスト)場合、申請は次の上位の部門とする。しかし低い試験結果(アンダーテスト)の場合、申請部門より下位のクラスにならない。海水と淡水の両方の記録に認められる最も強いラインク

ラスは、60kg(130lb)クラス、フライフィッシングの最も強いティベットクラスは10kg(20lb)クラスである。ラインまたはティベットがこれらの最大限の強さを超える試験結果が出た場合、申請は却下される。

魚の測定は、しばしば重量の検証や科学研究のために重要とされるので、慎重を期して行なうべきである。正しい測定を行うために、記録申請用紙に掲載されている図を参照のこと。

釣り人はボートのキャプテン(該当する場合)、計量者(該当する場合)および現認者の署名と正確な住所などが申請書に記入されているか確かめる責任がある。IGFAの職員やレプレゼンタティブ、IGFAクラブのメンバーなどが現場にいる場合、現認者となってもらうべきである。

申請において故意の偽造があった時は、将来のIGFA世界記録の申請資格を失い、既存の記録も無効とされる。

● ラインおよびティベットサンプル

フライフィッシング部門の記録申請にあたっては、使用したフライ、ティベット全体、リーダー全体を提出しなければいけない。これらはすべて連結された状態であること。

それ以外の部門の記録申請にあたっては、使用したフックすべて、リーダーとダブルラインの全部、およびダブルライン、リーダー、フックのいずれかに最も近いシングルラインを少なくとも5m添えなければいけない。(ただし、日本記録と世界記録の両方を兼ねる場合は、JGFAとIGFAでそれぞれラインブレイクテストを行うので、シングルライン部分は10m以上とする)。すべてのラインサンプルとリーダー(使用した場合)は連結された状態で提出しなければいけない。ラインサンプルが切れている、ないし上記の条件を満たしていない場合は、わかりやすい説明の文章を添えること。破断強度試験を行うことができない、ないし実際に使用したダブルラインやリーダー長の判断が不可能な場合、IGFAは申請を却下する権限を持つ。ルアーをリーダーに付けて使用した場合、リーダーはルアーのアイ部分で切るようにする。ラインサンプルは、傷つけることなく容易にほどける方法で提出しなければいけない。推奨できる方法は、段ボールを長方形に切り、両端に切込みを入れて使うことである。切りに込みラインの一端をしっかりと挟み、段ボールを芯にしてラインを巻く。巻き終わりの切りに込みしっかりと挟み、氏名とラインクラスを記入する。絡んでいた、容易にほどけないラインサンプルは受け付けられない。

● 写真の要件

申請書には、魚の全長を示す写真、使用した釣り具の写真、魚の重量を計ったハカリの写真、釣り人と魚が同時に収まっている写真を添付する。

魚種判定のためには、できるだけ鮮明な写真を提出するべきである。これは交雑種や、混同されやすい魚種の場合に重要である。サメ類を申請する場合は、横から撮った画像だけではなく、歯の写真、頭と背中を上から撮影した写真も提出する。後者では、第一および第二背鰭間の隆起部の有無がはっきりと分かること。

魚は、ぶら下げた状態と平面に置かれた状態を鮮明に写す。魚はカメラに対して平らな状態にし、いかなる部分も隠れていないこと。ヒレは完全に伸びた状態とし、手で隠されていないこと。魚の口や吻部がはっきりと写っていること。サメやマグロ類のキールが、

テイルロープで隠されていないこと。

魚を置いて撮影する場合は、その場所をできるだけ平らにならし、魚の側にメジャーを置くことが推奨される。魚は様々な角度か

ら撮影しておく。

魚をハカリにかけた状態で、重量値が読み取れるよう鮮明に撮影した写真があれば、認定の促進に繋がる。

IGFA ALL-TACKLE LENGTH RECORD

IGFA

オールタックル・レングス・レコード

〈世界記録魚種〉

IGFAオールタックル・レングス・レコードの対象魚と申請可能サイズ

SALTWATER SPECIES (海水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Albacore	Thunnus alalunga	ビンナガ
Amberjack, greater	Seriola dumerili	カンパチ
Barracuda, great	Sphyaena barracuda	オニカマス
Barracuda, Guinean	Sphyaena afa	
Barracuda, Mexican	Sphyaena ensis	
Bass, black sea	Centropomus striata	
Bass, European	Dicentrarchus labrax	
Bass, kelp (calico)	Paralabrax clathratus	
Bass, striped	Morone saxatilis	ストライプトバス
Bluefish	Pomatomus saltatrix	ブルーフィッシュ
Bonfish	Albula spp.	ボーンフィッシュ
Bonito, Atlantic	Sarda sard	
Bonito, Pacific	Sarda spp.	ハガツオ類
Buri (Japanese amberjack)	Seriola quinqueradiata	ブリ
Cobia	Rachycentron canadum	スギ
Cod, Atlantic	Gadus morhua	
Cod, Pacific	Gadus macrocephalus	マダラ
Corbina, California	Menticirrhus undulatus	
Dentex	Dentex dentex	
Drum, black	Pogonias cromis	
Drum, red	Sciaenops ocellatus	
Flounder, summer	Parachanna dentatus	
Grouper, black	Mycteroperca bonaci	
Grouper, gag	Mycteroperca microlepis	
Grouper, red	Epinephelus morio	
Halibut, California	Paralichthys californicus	
Jack, almaco	Seriola rivoliana	ヒレナガカンパチ
Jack, crevalle	Caranx hippos	ジャッククレバル
Jack, horse-eye	Caranx latus	
Jack, Pacific crevalle	Caranx caninus	
Kahawai (Australian salmon)	Arripis trutta	
Kawakawa	Euthynnus affinis	スマ
Ladyfish	Elops spp.	カラワイシ類
Leerfish (Garrick)	Lichia amia	
Mackerel, cero	Scomberomorus regalis	
Mackerel, king	Scomberomorus cavalla	
Mackerel, narrowbarred	Scomberomorus commerson	ヨコシマサワラ
Mackerel, Pacific sierra	Scomberomorus sierra	
Mackerel, Spanish	Scomberomorus maculatus	
Madai	Pagrus major	マダイ
Meagre	Argyrosomus spp.	オオニベ類
Milkfish	Chanos chanos	サバヒー
Permit	Trachinotus falcatus	パーミット
Pollock	Pollachius virens	
Pollack, European	Pollachius pollachius	
Pompano, African	Alectis ciliaris	イトヒキアジ
Pompano, Florida	Trachinotus carolinus	
Pompano, snubnose	Trachinotus blochii	マルコバン
Queenfish, talang	Scomberoides commersonianus	
Rockfish, black/blue	Sebastes melanops	
Rockfish, yelloweye	Sebastes ruberrimus	
Roosterfish	Nemastomus pectoralis	ルースターフィッシュ
Runner, rainbow	Elagatis bipinnulata	ツムブリ
Samson fish	Seriola hippos	サムソンフィッシュ
Seabass, blackfin	Lateolabrax latipes	ヒラスズキ
Seabass, Japanese (suzuki)	Lateolabrax japonicus	スズキ
Seabass, white	Atractoscion nobilis	
Seabream, gilthead	Sparus aurata	
Seatrou, spotted	Cynoscion nebulosus	
Shark, bonnethead	Sphyrna tiburo	
Sheepshead	Archosargus probatocephalus	
Skipjack, black	Euthynnus lineatus	
Snapper (squirefish)	Pagrus auratus	
Snapper, African red	Lutjanus agennes	
Snapper, cubera	Lutjanus cyanopterus	
Snapper, grey	Lutjanus griseus	
Snapper, mullet	Lutjanus aratus	
Snapper, mutton	Lutjanus analis	
Snapper, Pacific cubera	Lutjanus novemfasciatus	
Snapper, red	Lutjanus campechanus	
Snapper, yellowtail	Ocyurus chrysurus	
Snook, Atlantic	Centropomus spp.	スヌーク(大西洋)
Snook, Pacific	Centropomus spp.	スヌーク(太平洋)
Tarpon, oxeve	Megalops cyprinoides	イセゴイ
Tautog	Tautoga onitis	
Threadfin, giant African	Polydactylus quadrifilis	
Threadfin, king	Polydactylus macrochir	
Trevally, bigeye	Caranx sexfasciatus	ギンガメアジ
Trevally, bluefin	Caranx melampygus	カスミアジ
Trevally, giant	Caranx ignobilis	ロウニンアジ
Trevally, golden	Gnathodon speciosus	コガネシマアジ
Trevally, White (Silver)	Pseudocaranx dentex	シマアジ
Tripletail	Lobotes surinamensis	マツダイ
Tuna, blackfin	Thunnus atlanticus	
Tuna, longtail	Thunnus tonggol	コシナガ

Tuna, skipjack	Katsuwonus pelamis	カツオ	49 cm
Tunny, little	Euthynnus alletteratus		53 cm
Weakfish	Cynoscion regalis		48 cm
Yellowtail, California	Seriola lalandi dorsalis	ヒラマサ	80 cm
Yellowtail, southern	Seriola lalandi lalandi	ミナミヒラマサ	78 cm

FRESHWATER SPECIES (淡水魚)	日本名など	申請できる最小サイズ
Arawana	Osteoglossum bicirrhosum	アロワナ
Asp	Leuciscus aspius	
Barbel	Barbus barbus	
Barramundi	Lates calcarifer	パラムンディ
Bass, Australian	Macquaria novemaculeata	
Bass, largemouth	Micropterus salmoides	オオクチバス
Bass, smallmouth	Micropterus dolomieu	コクチバス
Bass, spotted	Micropterus punctulatus	
Bass, striped (landlocked)	Morone saxatilis	ストライプトバス(陸封型)
Bass, white		
Bass, white rock	Morone saxatilis M. chrysops	ホワイトロックバス
Bluegill	Lepomis macrochirus	ブルーギル
Bowfin	Amia calva	ボウフィン
Brycon	Brycon spp.	ブリコン属
Buffalo, bigmouth	Ictalurus cyprinellus	
Buffalo, smallmouth	Ictalurus bubalus	
Carp, common	Cyprinus carpio	コイ
Carp, grass	Ctenopharyngodon idella	ソウギョ
Catfish, blue	Ictalurus furcatus	ブルーキャットフィッシュ
Catfish, channel	Ictalurus punctatus	チャネルキャットフィッシュ
Catfish, flathead	Pylodictis olivaris	
Catfish, redbell (pirarara)	Phractocephalus hemiliopterus	
Catfish, sharp tooth	Clarias gariepinus	
Char, Arctic	Salvelinus alpinus	ホッキョクイワナ
Crappie, black	Pomoxis nigromaculatus	
Crappie, white	Pomoxis annularis	
Dolly Varden	Salvelinus malma	オショロコマ
Dorado	Salminus maxillosus	ドッド
Gar, Florida	Lepisosteus platyrhincus	フロリダガー
Gar, longnose	Lepisosteus osseus	
Gar, shortnose	Lepisosteus platostomus	ショートノーズガー
Grayling	Thymallus thymallus	グレイリング
Grayling, Arctic	Thymallus arcticus	キタカワヒメマス
Huchen	hucho hucho	
Inconnu	Stenodus leucichthys	
Kokanee	Oncorhynchus nerka	ヒメマス
Muskellunge	Esox masquinongy	マスケランジ
Muskellunge, tiger	Esox masquinongy x Esox Lucius	
Nembwe	Serranochromis robustus	
Oscar	Astronotus ocellatus	
Payara	Hydrolicus scomberoides	
Peacock, blackstriped	Cichla intermedia	
Peacock, blue	Chicula piquiti	
Peacock, butterfly	Cichla ocellaris	
Peacock, Orinoco	Cichla orinocensis	
Peacock, speckled	Cichla temensis	
Pellona, Amazon	Pellona castelnaeana	
Perch, European	Perca fluviatilis	
Perch, Nile	Lates niloticus	ナイルパーチ
Perch, white	Morone americana	
Perch, yellow	Perca flavescens	
Pickrel, chain	Esox niger	
Pike, northern	Esox lucius	ノーザンバイク
Salmon, Atlantic	Salmo salar	タイセイヨウサケ
Salmon, Atlantic (landlocked)	Salmo salar	タイセイヨウサケ(陸封型)
Salmon, Chinook	Oncorhynchus tshawytscha	マスノスケ
Salmon, chum	Oncorhynchus keta	シロザケ
Salmon, coho	Oncorhynchus kisutch	ギンザケ
Salmon, pink	Oncorhynchus gorbuscha	カラフトマス
Salmon, sockeye	Oncorhynchus nerka	ベニザケ
Shad, American	Alosa sapidissima	
Snakehead	Channa spp.	スネークヘッド類
Snapper, Papuan black	Lutjanus goldiei	ウラウチフェダイ
Sorubim	Pseudoplatystoma spp.	
Taimen	Hucho taimen	タイメン
Tambaqui	Colossoma macropomum	
Tigerfish	Hydrocynus vittatus	タイガーフィッシュ
Tigerfish, giant	Hydrocynus goliath	
Trahira	Hoplias macrophthalmus	
Trout, brook	Salvelinus fontinalis	ブルックトラウト
Trout, brown	Salmo trutta	ブラウントラウト
Trout, bull	Salvelinus confluentus	ブルトラウト
Trout, cutthroat	Oncorhynchus clarki	カットスロートトラウト
Trout, golden	Oncorhynchus gulosus	ゴールドトラウト
Trout, lake	Salvelinus namaycush	レイクトラウト
Trout, rainbow	Oncorhynchus mykiss	ニジマス
Trout, tiger	Salmo trutta x Salvelinus fontinalis	
Walleye	Stizostedion vitreum	ウォールアイ
Zander	Stizostedion lucioperca	

日本記録の対象魚(ラインクラス部門)

記録申請魚の最低重量は、ラインクラスの1/2以上であることが望ましい。ただし、最大と思われる重量がこの基準に達しない魚種についてはその限りではありません。

●印のついている魚種はラインクラス部門の世界記録認定魚。その他の魚種は、ラインクラス部門の国際魚種に認定されるまでは、オールタックル世界記録部門、オールタックル日本記録のみの対象魚となります。

※アカメ、イトウなどの環境省レッドデータブック記載種は、リリース前提での記録申請受付となります。

※コクチバスなどの外来魚の申請は外来生物法の規定にそって受け付けます。外来生物法では規定していないキャッチ&リリースについては、各都道府県および関連地方自治体の指示に従うこととします(2016年7月5日JGFA理事会決定)。

※タイリクスズギに関しては、オールタックル部門および10ポンドシーバスクラブ、年間フィッシングコンテストの対象として申請を受け付けることになりました(2020年4月1日より)。

フライフィッシング部門における最大ティベクトクラスは10kgです。

船からの釣り Off Shore

日本名	英名/学名	最大ラインクラス
アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otaki</i>	10kg(20lb)
アブラソコムツ	Escolar / <i>Lepidocybium flavobrunneum</i>	37kg(80lb)
アラ	Ara / <i>Nippon spinosus</i>	37kg(80lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)
イシダイ	Parrotperch, Japanese / <i>Oplegnathus fasciatus</i>	37kg(80lb)
イシナギ類	Bass, giant sea / <i>Stereolepis</i> spp.	60kg(130lb)
イセゴイ	Tarpon, oxeye / <i>Megalops cyprinoides</i>	10kg(20lb)
●イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
●オオニベ	Meagre, Japanese / <i>Argyrosomus japonica</i>	60kg(130lb)
●オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyræna barracuda</i>	60kg(130lb)
●オヒョウ	Halibut, Pacific / <i>Hippoglossus stenolepis</i>	60kg(130lb)
●カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	24kg(50lb)
●カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
カッポレ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
●カマスサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
●カライワシ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
●カンバチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
キチヌ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
●キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
クエ	Grouper, longthroat / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
●クロカジキ	Marlin, blue (Pacific) / <i>Makaira nigricans</i>	60kg(130lb)
クロソイ	Kurosoi/ <i>Sebastes schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロダイ	Porgy, black / <i>Acanthopagrus schlegeli</i>	10kg(20lb)
●クロマグロ(太平洋)	Tuna, Pacific bluefin / <i>Thunnus orientalis</i>	60kg(130lb)
クロメジナ	Blackfish, smallscale / <i>Girella melanichthys</i>	15kg(30lb)
コクハンアラ	Coral grouper, blacksaddled / <i>Plectropomus laevis</i>	60kg(130lb)
サワラ	Mackerel, Japanese Spanish / <i>Scomberomorus niphonius</i>	37kg(80lb)
●シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	60kg(130lb)
●シマアジ	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	37kg(80lb)
●シロカジキ	Marlin, black / <i>Makaira indica</i>	60kg(130lb)
●スギ	Cobia / <i>Rachycentron canadum</i>	60kg(130lb)
●スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	24kg(50lb)
●スマ	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i>	24kg(50lb)
タケノコメバル	Takenokomebaru / <i>Sebastes oblongus</i>	10kg(20lb)
タチウオ類	Hairtail / <i>Trichirus</i> spp.	15kg(30lb)
ツノザメ類	Shark, dogfish / <i>Squalus</i> spp.	24kg(50lb)
●ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
ドチザメ	Shark, banded (hound) / <i>Triakis scylli</i>	24kg(50lb)
●ハガツオ	Bonito, Pacific / <i>Sarda orientalis</i>	15kg(30lb)
●バショウカジキ(太平洋)	Sailfish, Pacific / <i>Istiophorus platypterus</i>	60kg(130lb)
ハマフエフキ	Emperor, spangled / <i>Lethrinus nebulosis</i>	37kg(80lb)
バラフエダイ	Snapper, twospot red / <i>Lutjanus bohar</i>	60kg(130lb)
バラムツ	Oilfish / <i>Ruvettus pretiosus</i>	60kg(130lb)
●ヒラスズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latus</i>	15kg(30lb)
●ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i>	60kg(130lb)
ヒラメ	Flounder, olive / <i>Paralichthys olivaceus</i>	15kg(30lb)
●ヒレナガカンバチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
●ピンナガ	Albacore / <i>Thunnus alalunga</i>	60kg(130lb)
●フウライカジキ	Spearfish, shortbill / <i>Tetrapturus angustirostris</i>	60kg(130lb)
●ブリ	Amberjack, Japanese (buri) / <i>Seriola quinqueradiata</i>	37kg(80lb)
ボラ	Mullet, striped / <i>Mugil cephalus</i>	10kg(20lb)
●マカジキ	Marlin, striped / <i>Tetrapturus audax</i>	60kg(130lb)
マゴチ	Magochi / <i>Platycephalus</i> sp.	10kg(20lb)
●マダイ	Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
●マダラ	Cod, Pacific / <i>Gadus macrocephalus</i>	24kg(50lb)
ミナミクロダイ	Seabream, Okinawa / <i>Acanthopagrus siviculus</i>	10kg(20lb)
ミナミマゴチ	Flathead, bar-tailed / <i>Platycephalus indicus</i>	10kg(20lb)
●メカジキ	Swordfish / <i>Xiphias gladius</i>	60kg(130lb)
メジナ	Mejina / <i>Girella punctata</i>	15kg(30lb)
メダイ	Barrelfish, Pacific / <i>Hyperoglyphe japonica</i>	37kg(80lb)
●メバチ(太平洋)	Tuna, bigeye (Pacific) / <i>Thunnus obesus</i>	60kg(130lb)
●ヨコシマサワラ	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	60kg(130lb)
●ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>SCaranx ignobilis</i>	60kg(130lb)

岸(磯)からの釣り Shore

アイナメ	Greenling, fat / <i>Hexagrammos otaki</i>	10kg(20lb)
イシガキダイ	Parrotperch, spotted / <i>Oplegnathus punctatus</i>	60kg(130lb)
イシダイ	Parrotperch, Japanese / <i>Oplegnathus fasciatus</i>	37kg(80lb)
イセゴイ	Tarpon, oxeye / <i>Megalops cyprinoides</i>	10kg(20lb)
●イソマグロ	Tuna, dogtooth / <i>Gymnosarda unicolor</i>	60kg(130lb)
●オオニベ	Meagre, Japanese / <i>Argyrosomus japonica</i>	60kg(130lb)
●オニカマス	Barracuda, great / <i>Sphyræna barracuda</i>	60kg(130lb)
●カスミアジ	Trevally, bluefin / <i>Caranx melampygus</i>	24kg(50lb)
●カツオ	Tuna, skipjack / <i>Katsuwonus pelamis</i>	37kg(80lb)
カッポレ	Jack, black / <i>Caranx lugubris</i>	15kg(30lb)
●カマスサワラ	Wahoo / <i>Acanthocybium solandri</i>	60kg(130lb)
●カライワシ	Ladyfish, Hawaiian / <i>Elops hawaiiensis</i>	15kg(30lb)
●カンバチ	Amberjack, greater / <i>Seriola dumerili</i>	60kg(130lb)
キチヌ	Seabream, yellowfin / <i>Acanthopagrus latus</i>	10kg(20lb)
●キハダ	Tuna, yellowfin / <i>Thunnus albacares</i>	60kg(130lb)
●ギンガメアジ	Trevally, bigeye / <i>Caranx sexfasciatus</i>	37kg(80lb)
クエ	Grouper, longthroat / <i>Epinephelus bruneus</i>	60kg(130lb)
クロソイ	Kurosoi/ <i>Sebastes schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロダイ	Porgy, black / <i>Acanthopagrus schlegeli</i>	10kg(20lb)
クロメジナ	Blackfish, smallscale / <i>Girella melanichthys</i>	15kg(30lb)
コクハンアラ	Coral grouper, blacksaddled / <i>Plectropomus laevis</i>	60kg(130lb)
サワラ	Mackerel, Japanese Spanish / <i>Scomberomorus niphonius</i>	37kg(80lb)
●シイラ	Dolphinfish / <i>Coryphaena hippurus</i>	60kg(130lb)
●シマアジ	Trevally, white / <i>Pseudocaranx dentex</i>	37kg(80lb)
●スズキ	Seabass, Japanese / <i>Lateolabrax japonicus</i>	24kg(50lb)
●スマ	Kawakawa / <i>Euthynnus affinis</i>	24kg(50lb)
タケノコメバル	Takenokomebaru / <i>Sebastes oblongus</i>	10kg(20lb)
タチウオ類	Hairtail / <i>Trichirus</i> spp.	15kg(30lb)
●ツムブリ	Runner, rainbow / <i>Elagatis bipinnulata</i>	24kg(50lb)
ドチザメ	Shark, banded (hound) / <i>Triakis scylli</i>	24kg(50lb)
ハマフエフキ	Emperor, spangled / <i>Lethrinus nebulosis</i>	37kg(80lb)
バラフエダイ	Snapper, twospot red / <i>Lutjanus bohar</i>	60kg(130lb)
●ヒラスズキ	Seabass, blackfin / <i>Lateolabrax latus</i>	15kg(30lb)
●ヒラマサ	Yellowtail, California / <i>Seriola lalandi dorsalis</i>	60kg(130lb)
ヒラメ	Flounder, olive / <i>Paralichthys olivaceus</i>	15kg(30lb)
●ヒレナガカンバチ	Jack, almaco / <i>Seriola rivoliana</i>	60kg(130lb)
●ブリ	Amberjack, Japanese (buri) / <i>Seriola quinqueradiata</i>	37kg(80lb)
ボラ	Mullet, striped / <i>Mugil cephalus</i>	10kg(20lb)
マゴチ	Flathead, bar-tailed / <i>Platycephalus indicus</i>	10kg(20lb)
●マダイ	Madai / <i>Pagrus major</i>	24kg(50lb)
ミナミクロダイ	Seabream, Okinawa / <i>Acanthopagrus siviculus</i>	10kg(20lb)
ミナミマゴチ	Flathead, bar-tailed / <i>Platycephalus indicus</i>	10kg(20lb)
メジナ	Mejina / <i>Girella punctata</i>	15kg(30lb)
●ヨコシマサワラ	Mackerel, narrowbarred / <i>Scomberomorus commerson</i>	60kg(130lb)
●ロウニンアジ	Trevally, giant / <i>SCaranx ignobilis</i>	60kg(130lb)

淡水の釣り Freshwater

アカメ	Lates, Japanese(akame) / <i>Lates japonicus</i>	37kg(80lb)
アマゴ(サツキマス)	Trout, red-spotted masu / <i>Onchorhynchus masou macrostomus</i>	10kg(20lb)
イトウ	Huchen, Japanese / <i>Hucho perryi</i>	24kg(50lb)
イワナ(アメマス)	Char, whitespotted / <i>Salvelinus leucomaenis</i>	10kg(20lb)
●オオクチバス	Bass, largemouth / <i>Micropterus salmoides</i>	10kg(20lb)
●カムルチー(タイワンドジョウ)	Snakehead / <i>Channa</i> spp.	24kg(50lb)
●カラフトマス	Salmon, pink / <i>Oncorhynchus gorbuscha</i>	15kg(30lb)
●コイ	Carp, common / <i>Cyprinus carpio</i>	60kg(130lb)
コウライニゴイ	Barbel,steed / <i>Hemibarbus lebeo</i>	10kg(20lb)
●シロザケ	Salmon, chum / <i>Oncorhynchus keta</i>	24kg(50lb)
●ソウギョ	Carp, grass / <i>Ctenopharyngodon idellus</i>	60kg(130lb)
●チャネルキャットフィッシュ	Catfish, channel / <i>Ictalurus punctatus</i>	37kg(80lb)
ナマズ	Catfish, amur / <i>Silurus asotus</i>	10kg(20lb)
●ニゴイ	Nigoi / <i>Hemibarbus barbus</i>	10kg(20lb)
ニジマス	Trout, rainbow / <i>Oncorhynchus mykiss</i>	37kg(80lb)
ハクレン	Carp, silver (Hypophthalmichthys molitrix)	37kg(80lb)
●ビワコオオナマズ	Catfish, Lake Biwa / <i>Silurus biwaensis</i>	10kg(20lb)
ブラウントラウト	Trout, brown / <i>Salmo trutta</i>	37kg(80lb)
マルタ	Redfin, Pacific / <i>Tribolodon branditi</i>	10kg(20lb)
ヤマメ(サクラマス)	Trout, masu / <i>Oncorhynchus masou masou</i>	10kg(20lb)

■日本記録対象魚(ラインクラス部門)の追加および参考記録

現時点でJGFA日本記録ラインクラス部門の対象となっていない魚種についても、それらの魚種の記録申請を受け付け、1魚種あたりの申請人数が各部門(船釣り、磯釣り、淡水、フライフィッシング)ごとに10人を越えた時点で、**新たなラインクラス部門対象魚として追加するか否かを検討する**。記録申請人数が10人に満たない時点でも、これらの記録は公式に審査され、審査をクリアした段階で参考記録として保存される。(1993年1月1日発効)
〈当面は現行ルールに従うものとするが、JGFA日本記録・ラインクラス部門対象魚の決定は、審査委員会で検討できることとする〉
(1996年11月5日)

■日本記録「オールタックル部門」

日本領土および専管水域(200カイリ)内で釣られたすべての魚種(正式な学名のつけられているもの)について、「**オールタックル部門**」を設ける。この場合、現在および将来にわたり、ラインクラス部門での最大重量魚は、自動的にオールタックル部門の記録として認定される。
日本記録オールタックル部門の規定は、IGFAルールに準ずるものとする。(1994年1月1日より発効。ただし申請期限は、特別の理由がないかぎり釣った日より30日以内とする。)

J G F A A L L - T A C K L E L E N G T H R E C O R D

JGFA

オールタックル・レングス・レコード

〈日本記録魚種〉

JGFA 日本記録・オールタックル・レングス・レコード対象魚

魚名	初回申請時の最低長(cm)	IGFALレングス部門対象魚	備考
アイナメ	45		海水・JGFA日本記録ラインクラス対象魚
イシガキダイ	50		〃
イシダイ	50		〃
イセゴイ	48	V	〃
オオニベ	30	V	〃
オニカマス	95	V	〃
カスミアジ	58	V	〃
カツオ	49	V	〃
カッポレ	60		〃
カンパチ	92	V	〃
キチヌ	45		〃
ギンガメアジ	44	V	〃
クロソイ	40		〃
クロダイ	45		〃
クロメジナ	45		〃
コクハンアラ	80		〃
サワラ	80		〃
シマアジ	55	V	〃
スギ	85	V	〃
スズキ	63	V	〃
スマ	47	V	〃
タケノコメバル	25		〃
ツムブリ	60	V	〃
ドチザメ	80		〃
ハガツオ	49	V	〃
ハマフエフキ	60		〃
バラフエダイ	80		〃
ヒラスズキ	47	V	〃
ヒラマサ	80	V	〃
ヒラメ	80		〃
ヒレナガカンパチ	80	V	〃
ピンナガ	61	V	〃
ブリ	52	V	〃
ボラ	50		〃
マゴチ	50		〃
マダイ	40	V	〃
マダラ	56	V	〃
ミナミクロダイ	45		〃
ミナミマゴチ	50		〃
メジナ	45		〃
メダイ	60		〃
ヨコシマサワラ	100	V	〃

魚名	初回申請時の最低長(cm)	IGFALレングス部門対象魚	備考
ロウニンアジ	76	V	〃
イシガレイ	50		海水(GFA日本記録ラインクラス対象魚外)
カフハギ	28		〃
コシナガ	72	V	〃
ゴマサバ	50		〃
サバヒー	60	V	〃
シロギス	25		〃
マアジ	45		〃
マコガレイ	50		〃
マサバ	50		〃
マツダイ	48	V	〃
マルコバン	39	V	〃
アカメ	100		淡水・JGFA日本記録ラインクラス対象魚
アマゴ(サツキマス)	45		〃
イトウ	80		〃
イワナ(アメマス)	45		〃
オオクチバス	48	V	〃
カルムチー	29	V	〃
カラフトマス	39	V	〃
コイ	55	V	〃
コウライニゴイ	45		〃
シロザケ	48	V	〃
ソウギョ	66	V	〃
チャネルキャットフィッシュ	60	V	〃
ナマズ	50		〃
ニゴイ	45		〃
ニジマス	54	V	〃
ビワコオオナマズ	80		〃
ブラウントラウト	51	V	〃
マルタ	45		〃
ヤマメ(サクラマス)	45		〃
アオウオ	80		淡水(JGFA日本記録ラインクラス対象魚外)
アユ	28		〃
ギンブナ	30		〃
ゲンゴロウブナ(ヘラブナ)	45		〃
コクレン	70		〃
ハクレン	70		〃
ギンザケ	53	V	IGFA(世界)対象のサケマス類
ベニザケ	35	V	〃
ブルックトラウト	34	V	〃
レイクトラウト	74	V	〃
マスノスケ(キングサーモン)	53	V	〃

★IGFA(世界)オールタックルレングスレコードとルールは同じです。IGFA専用メジャーを使用して計測した後にリリース前提。

★「IGFALenbth部門対象魚」の欄に「V」が入っているのは、IGFAオールタックルレングスレコードの対象魚で最低申請尺長もIGFAで定められているものです。

専用メジャーの購入方法



オールタックル・レングスレコードの申請には専用メジャーが必要です。これ以外で計測しても申請は受け付けられません。

JGFA事務局は、専用メジャーを在庫しており、ホームページからご購入いただけます。代金は送料・税込で9,000円です。

www.jgfa.or.jp/store/index.html

専用メジャーはIGFAから直接購入もできますが、本体価格に消費税、送料、関税、通関手数料などがかかります。

www.shopigfa.com

IGFA 世界記録部門とスペシャルクラブ

IGFA世界記録

部門	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書	写真	使用ライン仕掛け	申請料
オールタックル部門	IGFAルール	世界中のすべての魚	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上。ただしその魚種の最大と思われるものの1/2以上	制限なし (過去のものでも可)	なし	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
ラインクラス部門 海水・淡水	IGFAルール	IGFAが指定した魚種 (該当箇所を参照)	魚種により違う (該当箇所を参照)	ラインクラスの 1/2 以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
ティベットクラス (フライ) 部門 海水・淡水	IGFAルール	IGFAが指定した魚種 (該当箇所を参照)	10kg (20lb) 以下	ティベットクラスの 1/2 以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
ジュニア部門	IGFAルール	IGFAが指定した魚種 (該当箇所を参照)	60kg (130lb) 以下	ラインクラスの 1/2 以上	釣った日から60日以内 (米国外90日以内)	年齢別あり、男女別あり	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
オールタックル・レングス部門 (コンベンショナル = フライ以外)	IGFAルール	IGFAが指定した魚種 (該当箇所を参照)	60kg (130lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当箇所を参照)	制限なし (過去のものでも可)	なし	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
オールタックル・レングス部門 (フライ)	IGFAルール	IGFAが指定した魚種 (該当箇所を参照)	10kg (20lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当箇所を参照)	制限なし (過去のものでも可)	なし	翻訳サービスあり (無料)	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	必要	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)

●使用ルール：IGFAルール ●申請料金：IGFA会員登録が必要 (デジタル会員：3000円、個人会員：5000円)、その他の申請料はJGFAが負担 ●申請書：翻訳サービスあり (無料)
●写真の提出：必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：必要

スペシャルクラブ

部門	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	申請料
トロフィーフィッシュ・クラブ	パラマンディ	23kgもしくは叉長125cm以上	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
	ボーンフィッシュ	4.5kgもしくは叉長70cm以上	
	シイラ	23kgもしくは叉長130cm以上	
	ラージマウスバス	4.5kgもしくは叉長60cm以上	
	マスケランジ	13.5kgもしくは叉長130cm以上	
	ルースターフィッシュ	23kgもしくは叉長130cm以上	
	スヌーク	11.5kgもしくは叉長95cm以上	
	スペckルドビーコック	10kgもしくは叉長85cm以上	
	ストライプトバス	23kgもしくは叉長130cm以上	
	キハダ、メバチ	90kgもしくは叉長170cm以上	
グランドスラム・クラブ (指定魚種のうち3種を1日で) スーパー・グランドスラム・クラブ (指定魚種のうち4種を1日で) ファンタジースラム・クラブ (指定魚種のうち5種を1日で)	バスカテゴリー： ラージマウス、ロック、スモールマウス、ストライプト、スポッテッド、ショール、ホワイ、ホワイトロック ビルフィッシュカテゴリー： クロカジキ (太平洋および大西洋)、シロカジキ、マカジキ、タイセイヨウマカジキ、バショウカジキ (太平洋および大西洋) フウライカジキ、メカジキ インショアカテゴリー： ボーンフィッシュ、スヌーク、ターボン、パーミット、クベラ スナッパー、カスミアジ、ロウニンアジ、ミルクフィッシュ、ルースターフィッシュ、マルコバン オフショアカテゴリー： ビルフィッシュ全種、マグロ類全種、シイラ、カマスサワラ サーモンカテゴリー： アトランティック、キング、レッド、シルバー、チャム、ピンク シャークカテゴリー： ブラックティップ、ブルー、ブル、ハンマーヘッド、マコ、ボービーグル、スレッシャー、タイガー、トープ トラウトカテゴリー： ブルック、ブラウン、ブル、カットスロート、ゴールデン、レイク、レインボー ツナカテゴリー：メバチ、タイセイヨウマグロ、クロマグロ、イソマグロ、コシナガ、カツオ、ミナミマグロ、キハダ	計測不要 リリース奨励	\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)
ロイヤルスラム・クラブ	上記各カテゴリーにおいて、指定の全魚種を生涯のうちにキャッチ		\$100 (非IGFA会員) ないし \$50 (IGFA会員)

スペシャルクラブ申請の際にも、IGFAルールが適用されます。申請制限はなく、過去に釣った魚も対象とすることができます。男女のカテゴリーは設定されていません。写真の提出が必要です。
●IGFAスペシャルクラブへの申請料は自己負担とさせていただきます。

JGFA日本記録 〈IGFAルールの使用が前提です〉

部門またはクラブ	使用ルール	対象魚	最大ラインクラス	申請できる魚の最低サイズ	申請期限	男女別	申請書	写真	船上での計量	使用ライン仕掛け
オールタックル 日本記録	IGFA ルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上。ただしその魚種の最大と思われるものの1/2以上	釣った日より30日以内	なし	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 海部門 ・船釣り ・岸釣り	IGFA ルール	JGFAが指定した魚種 (該当個所を参照)	魚種により違う(該当個所を参照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ラインクラス 淡水部門	IGFA ルール	JGFAが指定した魚種 (該当個所を参照)	魚種により違う(該当個所を参照)	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ティベットクラス (フライ)部門	IGFA ルール	ラインクラス部門(淡水・海水)に指定されている魚種	10kg (20lb)以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	不可	必要
ジュニア日本記録	IGFA ルール	日本国内で釣ったすべての魚種	60kg (130lb) 以下	1ポンド (453g) 以上	釣った日より30日以内	あり (16歳以下)	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	可	必要
オールタックル・ レングス部門 (コンベンショナル =フライ以外)	IGFA ルール	JGFAが指定した魚種((該当個所を参照)	60kg (130lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当個所を参照)	釣った日より30日以内	なし	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	可	必要
オールタックル・ レングス部門(フライ)	IGFA ルール	JGFAが指定した魚種((該当個所を参照)	10kg (20lb) 以下	魚種によって最低長の設定あり (該当個所を参照)	釣った日より30日以内	なし	日本記録申請用紙を使用	必要 (種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと)	可	必要

申請資格：オールタックル=JGFA会員および非会員、ラインクラス部門=JGFA会員のみ、ジュニア部門=ジュニア会員のみ
 申請料：サポート会員を除くJGFA会員=無料、サポート会員=6,000円、非会員=10,000円(入会費用込み)

提出するラインサンプルは、以下の要件を満たすこと。

- ①実際に使用したラインであること。
- ②ダブルライン、ショックリーダーなどを使用した場合、必ずシングルラインと連結した状態で段ボールに巻き提出(氏名、ラインクラス、魚名、重量を記入)。
- ③提出するシングルライン(道糸)は最低5メートル。世界記録に相当するような場合は10メートル。
- ④使用した仕掛けの実物またはスケッチを提出。

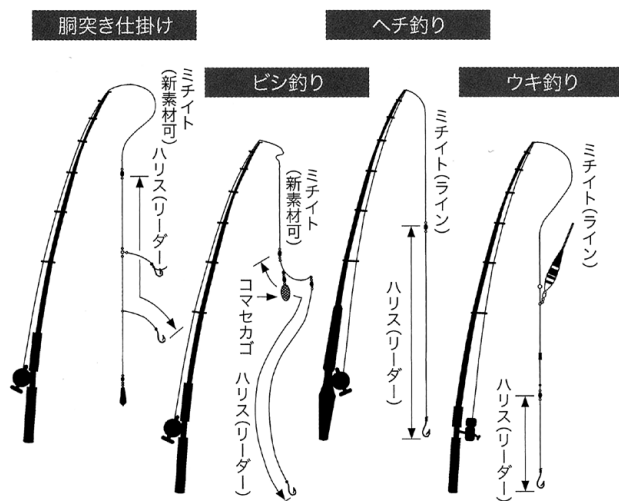
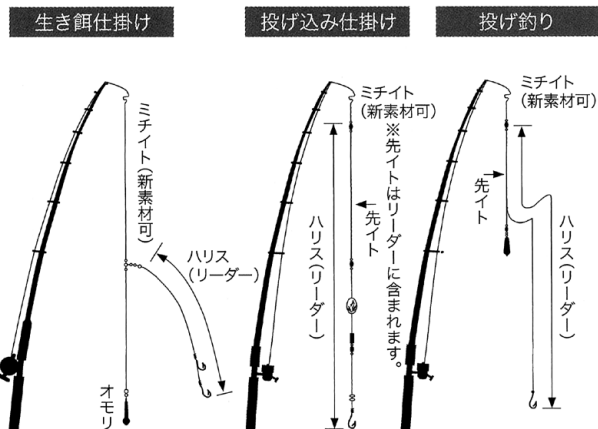
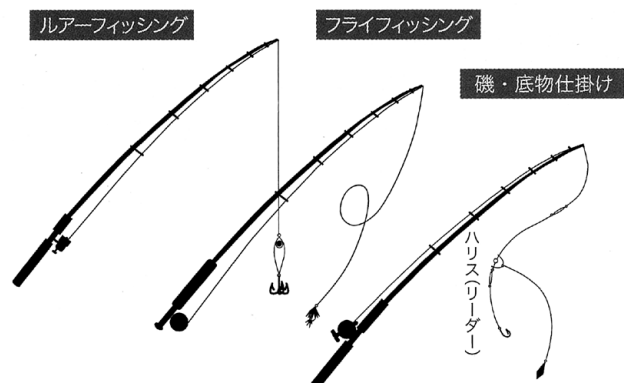
JGFAスペシャルクラブ 〈IGFAルールの使用が前提です〉

クラブ名	対象魚	申請できる魚の最低サイズ	写真	ライン・仕掛けの提出	船上での計量	その他の条件
5ポンドオーバークラブ	クロダイ、メジナ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
5ポンドオーバークラブ	アイナメ、ソイ類	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	マダイ、ヒラメ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	—
10ポンドオーバークラブ	イシダイ、イシガキダイ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
100ポンドオーバークラブ	日本国内で釣ったすべての魚	100ポンド(45.00kg)以上	必要	不要	可	スタンディングファイトのみ
5ポンドバスクラブ	オオクチバス	5ポンド(2.25kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
10ポンドシーバスクラブ	スズキ、ヒラスズキ、タイリクスズキ	10ポンド(4.50kg)以上	必要	不要	可	リリース前提
200kgクラブ	日本国内で釣ったすべての魚	200kg以上	必要	不要	不可	—
300kgクラブ	日本国内で釣ったすべての魚	300kg以上	必要	不要	不可	—
メーターオーバークラブ	又長1m以上の淡水魚(コイ、ソウギョ、アオウオ、ハクレン、コクレン、カムルチー、ピワコオナマス、イトウ、アカメなど)	又長1m以上	必要	不要	可	リリース前提

- 使用ルール：IGFAルール ●最大ラインクラス：60kg(130lb) ●申請期限：釣った日より30日以内 ●男女別：なし
- 申請資格：釣った時点ですでに会員であること(サポート会員は除く) ●申請料：無料 ●申請書：日本記録申請用紙を使用
- 写真の提出：必要(種類・撮り方に関しては該当ページを参照のこと) ●使用ライン・仕掛けの提出：不要

IGFAルールにあった釣具と仕掛け

下の図のような一般的な釣具&仕掛けでもIGFAルールに適合します。ぜひチャレンジを！

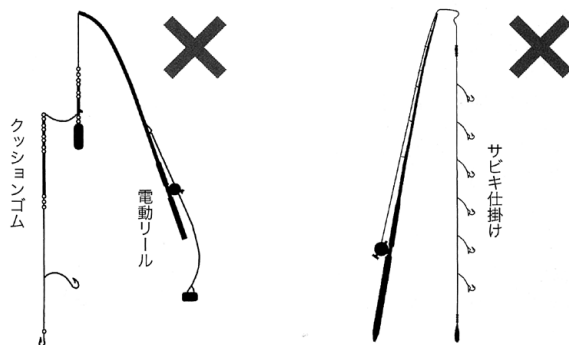


※ただしフックを含めた枝ハリスの合計長は、リーダー本線に設けられた接続部間の長さを超えることができません

その他の主な失格事項(抜粋)

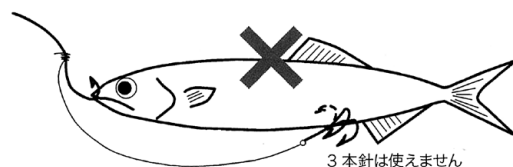
- ロッドキーパーにかけたままでのファイトは認められません。アタリがあったら、すぐに手持ちに移って下さい。船ばたに竿をつけて支えとしてファイトしてもいけません。
- エサ釣りの場合、エサからハリスを離して取りつくと失格です。

IGFAルールでは失格となる釣具・仕掛け(代表例)



電動リールやクッションゴムの使用は失格となります。

3本バリ以上のサビキは失格となります。(バリ数は2本までと決められています)



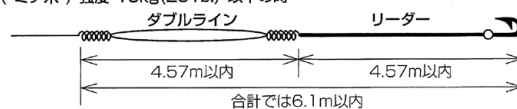
エサ釣りの場合、使えるハリスはシングルフック2本まで。マゴバリに3本針を使うと失格となります。(シングルフックならOKです)

ダブルラインやリーダーを使うときは…

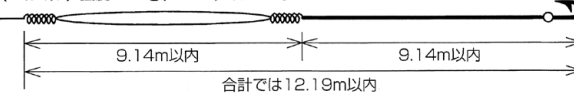
ダブルラインやリーダーの使用は任意ですが、もし使う場合は以下の規定に従って下さい。

海水部門

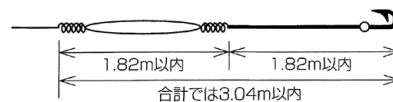
- ライン(ミチ糸)強度 10kg(201b.)以下の時



- ライン(ミチ糸)強度 15kg(301b.)以上の時

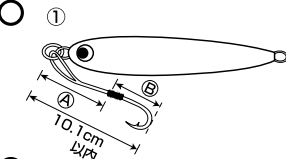
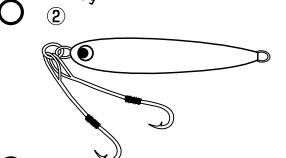
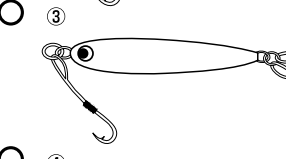
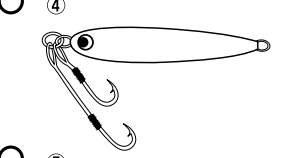
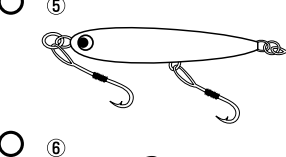
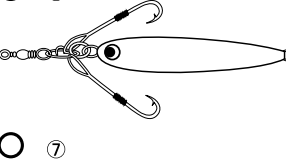
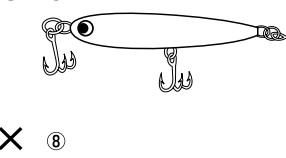
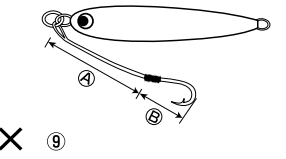
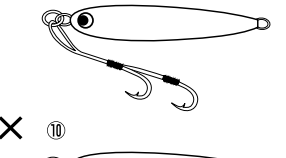
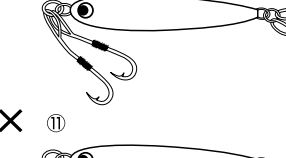
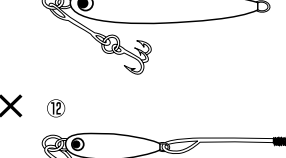
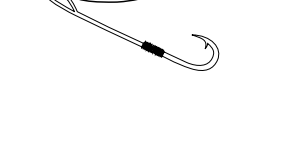


淡水部門



IGFAルールとアシストフック&タイラバ

アシストフック(○はルール適合、×は失格)

- ①  ■(A)リードの長さは(B)フック全長の1.5倍以内。
■(A)と(B)の合計長は、4インチ(10.1cm)以内とする。
- ②  ■アシストフックを2本つける場合、リードの長さは同じでも可。
- ③  ■アシストフックは、1つのルアーに3本まで使える。
■フロントアイに2本、テールに1本でも可。
- ④  ■リードの長さが規定どおりであれば、リードの長さを変えて、1つのアイから2本出しても可。
- ⑤  ■1つのルアーに3本までのシングル、ダブル、トレブルのいずれかのフックがつけられる。
- ⑥  ■スナップスイベルに、アシストフックを通しての使用は可。
- ⑦  ■トレブルフックを先頭のアイにつけての使用も可。
- × ⑧  ■(A)の長さが(B)の長さの1.5倍以上であると失格。
- × ⑨  ■タンDEM(シングルフックを直列に2本つけたもの)は失格。
- × ⑩  ■1つのルアーにはアシストフックは3本まで。4本以上つけると失格。
- × ⑪  ■アシストフックには、シングルフック以外は使えない。
- × ⑫  ■リードの長さとフックの長さの合計長が規定どおりであっても、ルアーのボディーから大きくフックが離れていると失格。

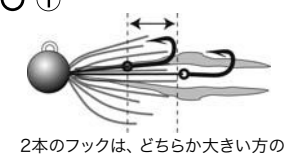
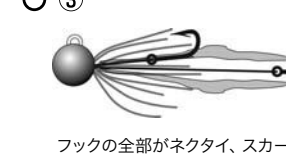
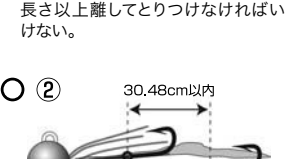
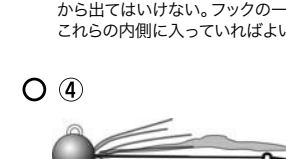
タイラバ&インチク

- ① シングルフック2本までの使用が認められます。
- ② ルアーは一つの仕掛けに1個のみ使用できます。複数の取り付けは不可。
- ③ フックに取り付けるリードの素材は問いません。
- ④ フックの先端にもう一方のフックのアイを通して、2本を連結することは認められます。
- ⑤ 2本のフックはどちらか大きい方の全長以上、離して取り付けなければいけません。但し、フックのアイとアイの間隔は12インチ(30.48cm)以内とします。
- ⑥ フックの全部がルアーのネクタイやスカートから出てはいけません。
- ⑦ ケンケンバリ(ダブルフック)や3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用はできません。

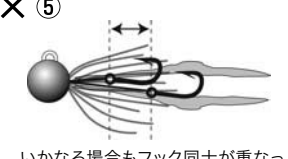
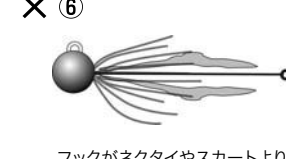
※通称タイラバ&インチクおよび、市販されている海のトロリングルアーの多くは、化学製品等のスカートが付いています。これらスカート付きのルアーの場合も、必要以上と認識される多くの針を配置してはいけません。魚体に絡みついたり、スレ掛りに頼る不正な針掛りをできる限り排除するためです。もちろん、魚のファイトを妨げ吸収するパーツ(クッションゴム等)をどこかに組み込んではいけません。

タイラバ

【適合】

- ①  2本のフックは、どちらか大きい方の長さ以上離してとりつけなければならない。
- ③  フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけません。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。
- ②  フックのアイとアイの間隔は、最大でも12インチ(30.48cm)以内とする。
- ④  フックの全部がネクタイ、スカート等から出てはいけません。フックの一部がこれらの内側に入っていればよい。

【失格】

- × ⑤  いかなる場合もフック同士が重なってはいけません。
- × ⑥  フックがネクタイやスカートより完全に出てはいけません。
- × ⑦  ケンケンバリ(ダブルフック)、3本イカリバリ(トレブルフック、ギャングフック)の使用は不可。